

令和7年度  
情報発信に関するアンケート調査  
集計結果

# 調査の目的と概要

## 1. 調査の目的

近年、情報の取得手段は多様化しており、SNS やオンラインニュースの配信などインターネットを利用したメディアの普及が進み、スマートフォンなどでいつでも情報が取得できるようになるなど、時代は大きく変化している。

そのような状況の中、藤岡市民の市政情報の取得手段や、市が運用する広報媒体（広報紙、ホームページ、SNS など）の利用状況及び市の情報発信への要望や意見を把握・分析し、今後の市の広報業務や運用する広報媒体の改善に向けた資料とするため、本調査を実施した。

## 2. 調査の概要

### (1) 調査方法

広報ふじおか2月号に「情報発信に関するアンケート調査」の記事を掲載。2次元コードより専用フォームにて回答。また、電子での回答が困難な方向けに、各地域づくりセンターや複合施設ふじまるに回答様式を配架した。

### (2) 調査対象

- ・市内に在住・在勤・在学の人
- ・本市に関係のある人

### (3) 調査期間

令和8年2月2日（月）から2月27日（金）回答締切

### (4) 回答方法

LoGo フォーム、回答様式

### (5) 回答者数

358 件（内訳：LoGo フォーム 355 件、回答様式：3 件）

## 調査の目的と概要

### 3. 調査項目

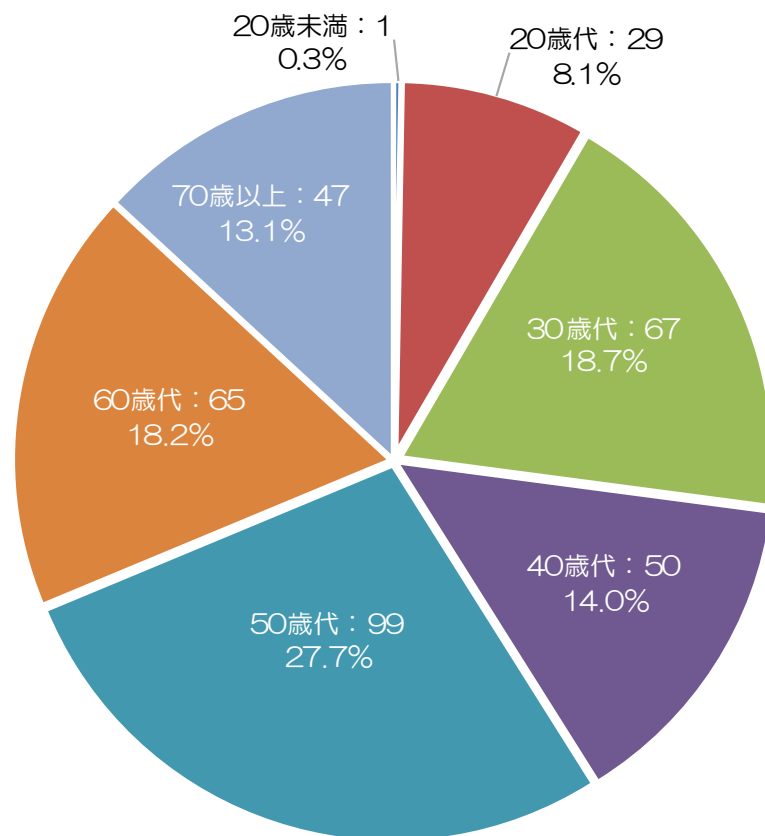
- ・ 回答者のことについて（6項目）
- ・ 広報ふじおかのことについて（10項目）
- ・ 市ホームページのことについて（6項目）
- ・ 市公式 SNS について（5項目）
- ・ 群馬テレビデータ放送について（4項目）
- ・ 自由記載

### 4. 報告書の見方

- ・ 全てのグラフにおいて少数第2位を四捨五入して算出しているため合計が100%にならない場合があります
- ・ 項目においては、複数回答を設けているため、回答数が回答者数より多くなる場合があります
- ・ 自由記載は、記載内容によって各項目「広報紙に関する意見、市ホームページに関する意見、SNS などの情報発信に関する意見」などに振り分けています。なお、本調査と関係のない内容のものや、内容が不明確なものに関しては掲載していません。

# 回答者の属性

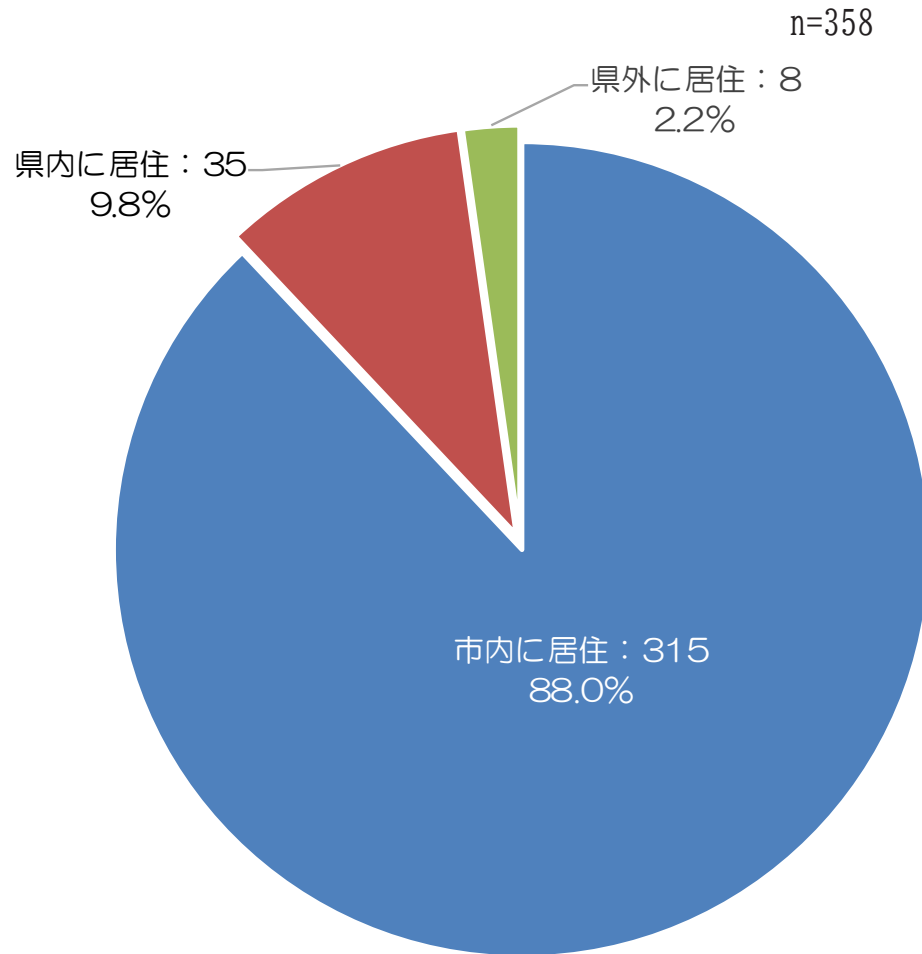
## Q1. 年代



n=358

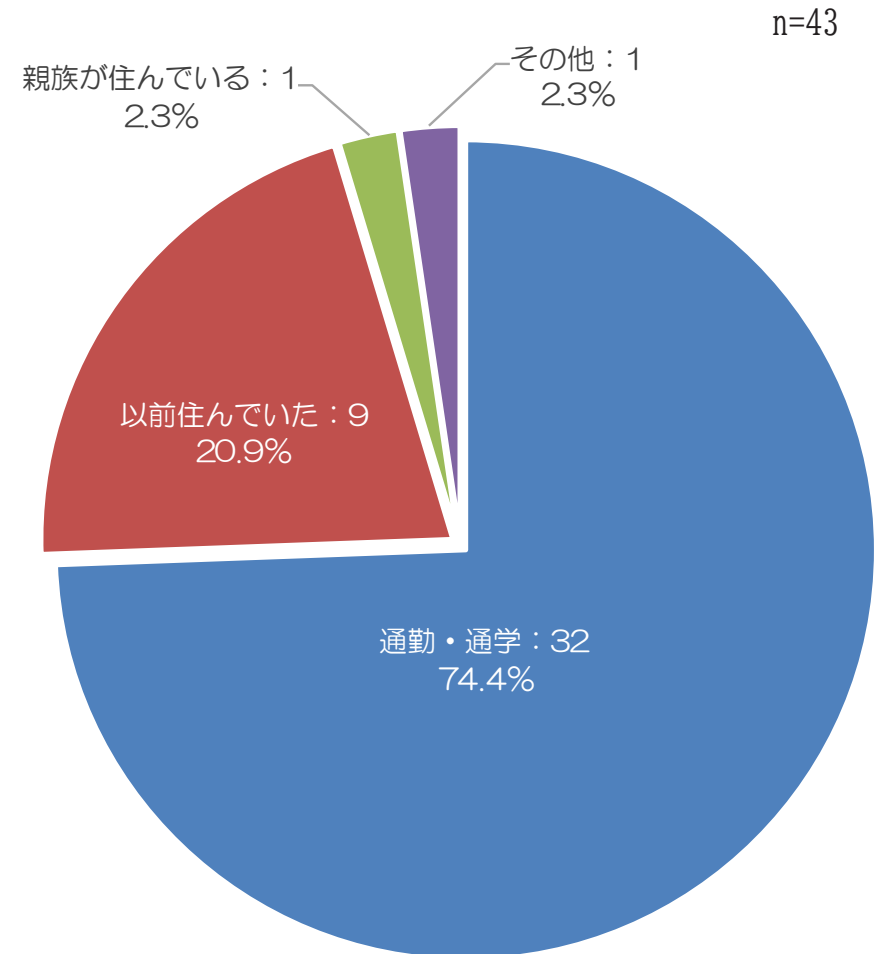
年代	回答数	割合
20歳未満	1	0.3%
20歳代	29	8.1%
30歳代	67	18.7%
40歳代	50	14.0%
50歳代	99	27.7%
60歳代	65	18.2%
70歳代	47	13.1%

## Q2. 居住地



## Q2-2. 藤岡市との関わり

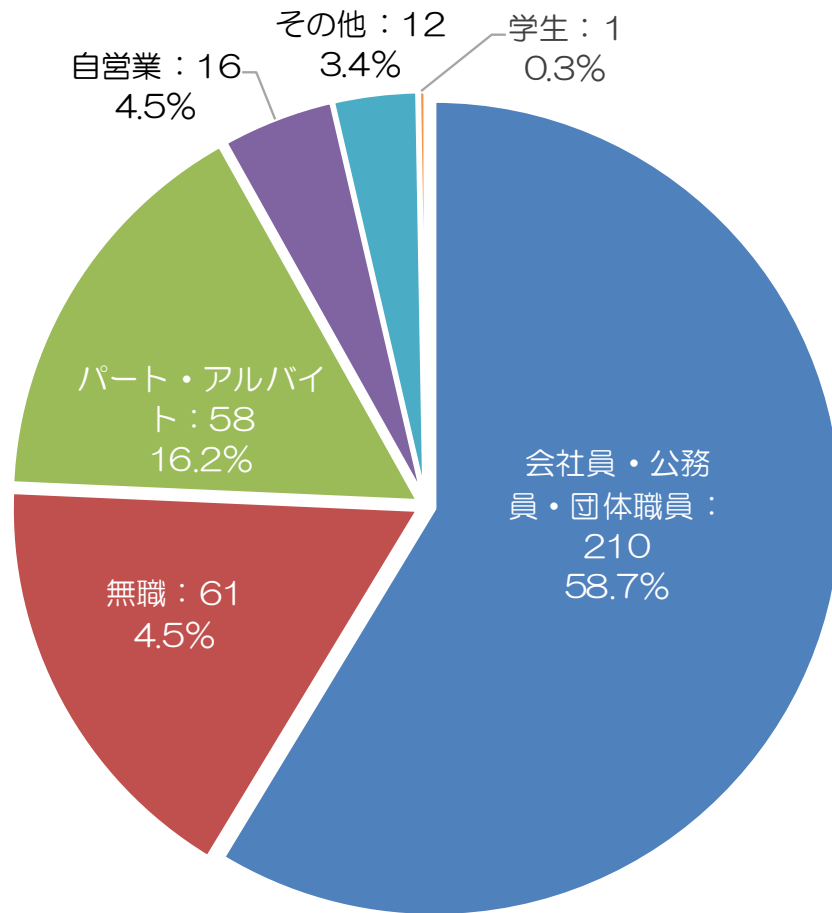
【Q2で「県内に居住」「県外に居住」を選択した人のみ】



【その他回答：1件】

「今年から居住する」との回答がありました。

### Q3. 職業



n=358

内容	回答数	割合
会社員・公務員・団体職員	210	58.7%
無職	61	4.5%
パート・アルバイト	58	16.2%
自営業	16	4.5%
その他	12	3.4%
学生	1	0.3%

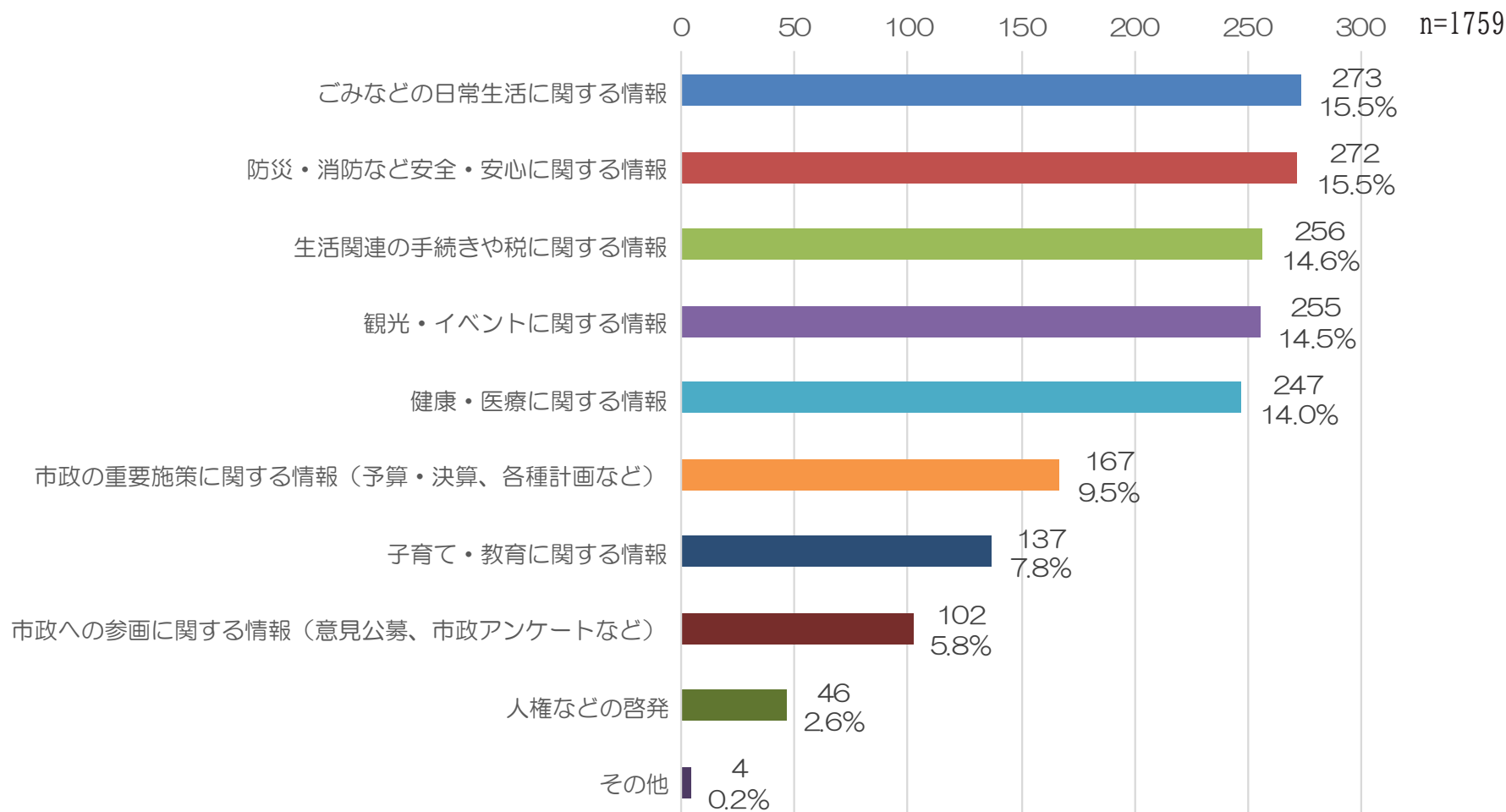
【その他回答：12件】

「大学教員」「農業」「専業主婦」「公的年金受給者」などの回答がありました。

## Q4. 市からの情報で必要と思うものは何ですか（複数回答可）

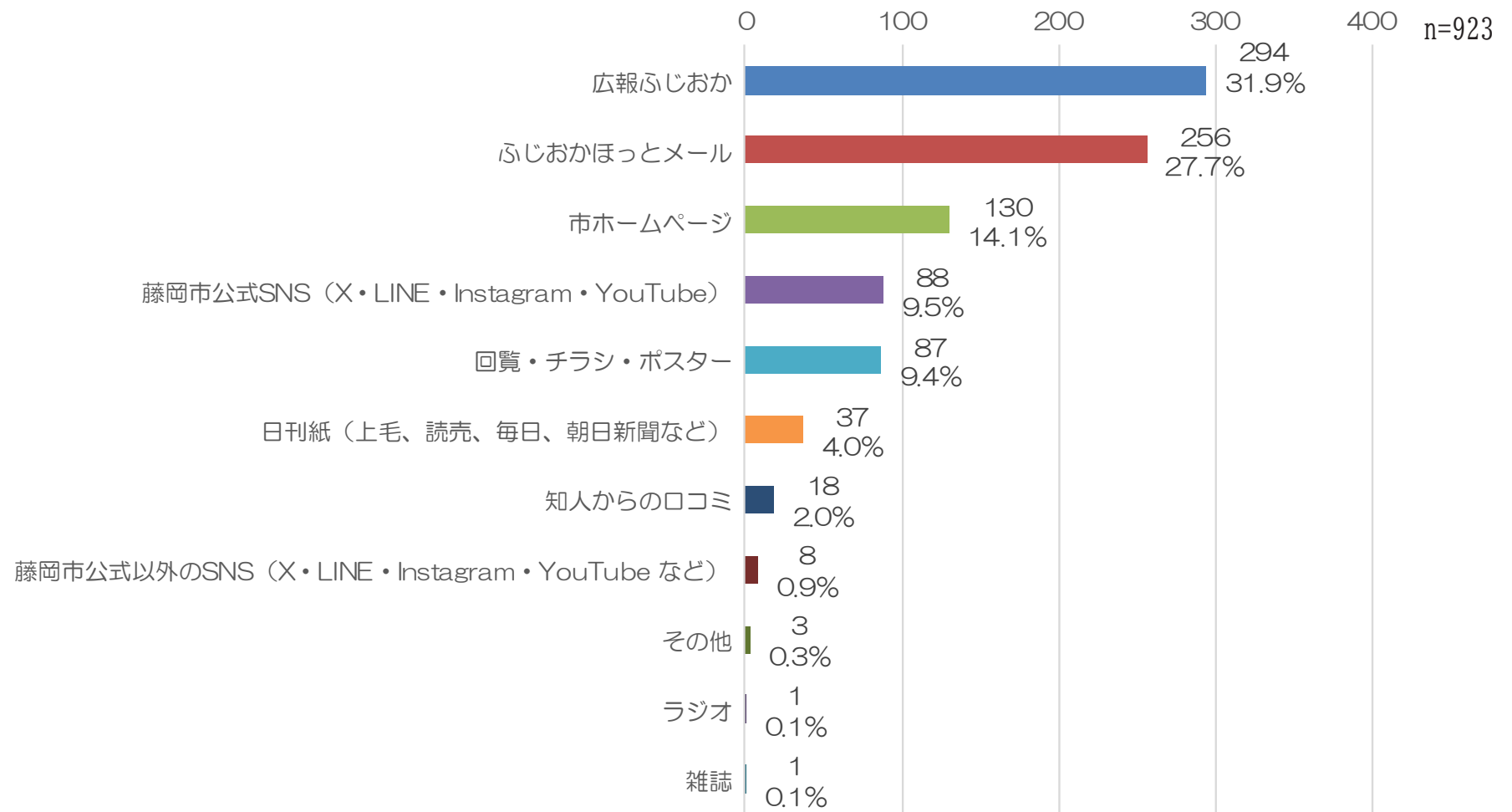
・市から提供される情報で最も必要とされているものは、「ごみなどの日常生活に関する情報」で、273人（15.5%）がこの情報を必要だと回答しました。次いで「防災・消防など安全・安心に関する情報」が272人（15.5%）と、ほぼ同数で続き、また「生活関連の手続きや税に関する情報」が256人（14.6%）となりました。

・この結果から、市民が日常生活に密接に関わる情報を特に重視していることが明らかとなりました。



## Q5. 市からの情報をどこから入手していますか（主なものを3つまで）

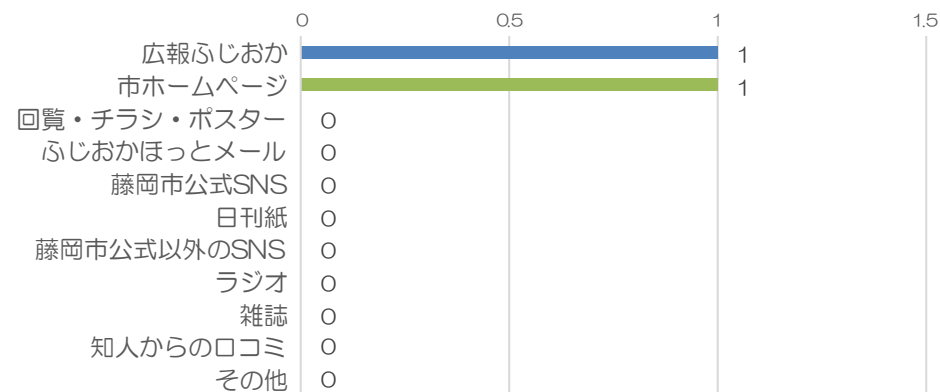
・市からの情報を入手する手段として最も多かったのは「広報ふじおか」で、294人（31.9%）がこの方法を選びました。次いで「ふじおかほっとメール」が256人（27.7%）で、さらに「市ホームページ」が130人（14.1%）と続いています。これらの結果から、「広報ふじおか」が市民にとって最も利用されている情報源であることがわかります。



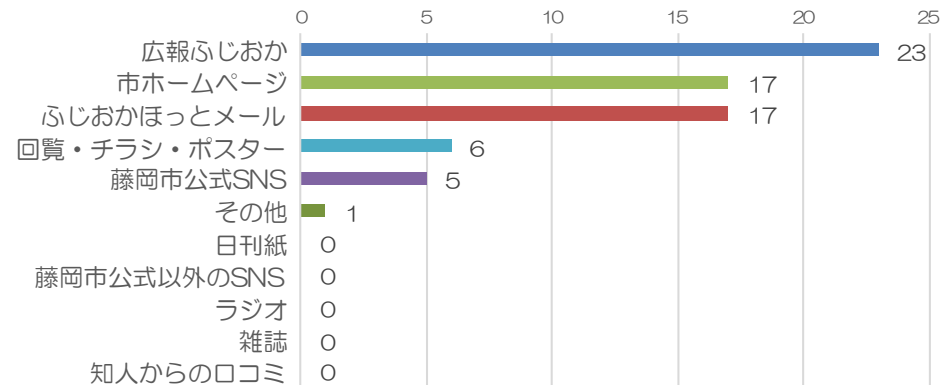
## Q5. 市からの情報をどこから入手していますか（主なものを3つまで）

【年代別回答】

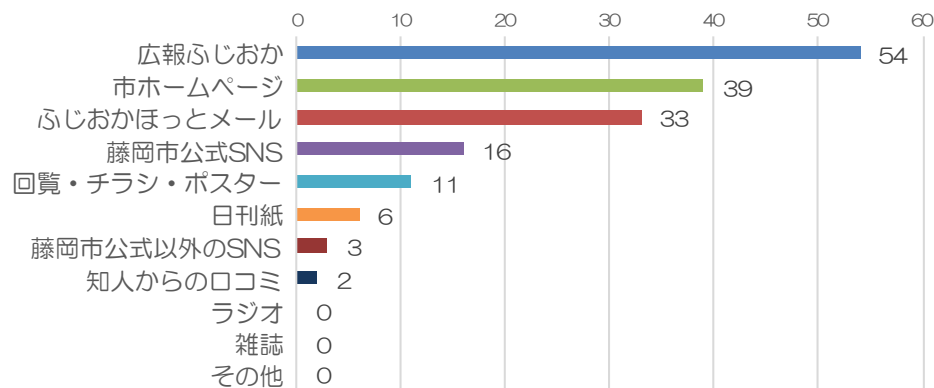
20歳未満



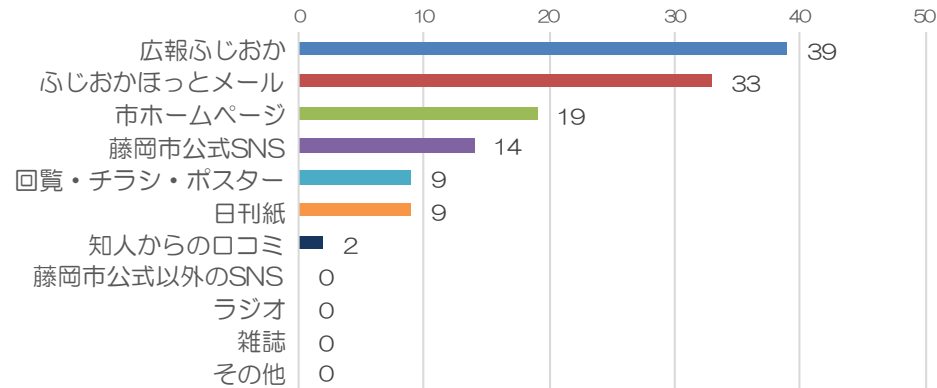
20歳代



30歳代



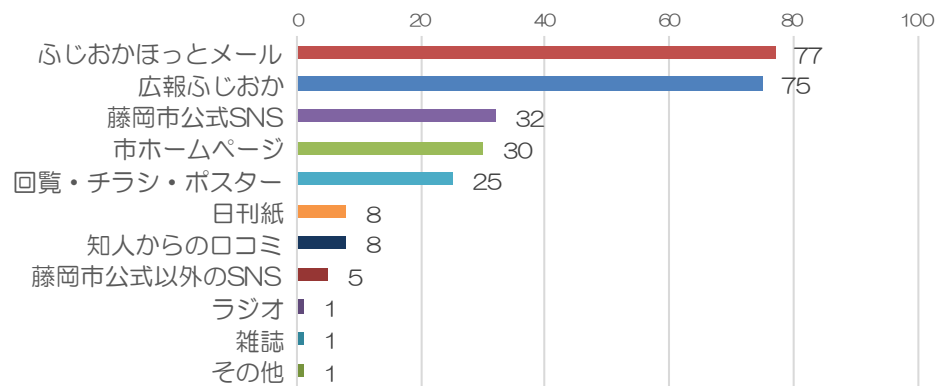
40歳代



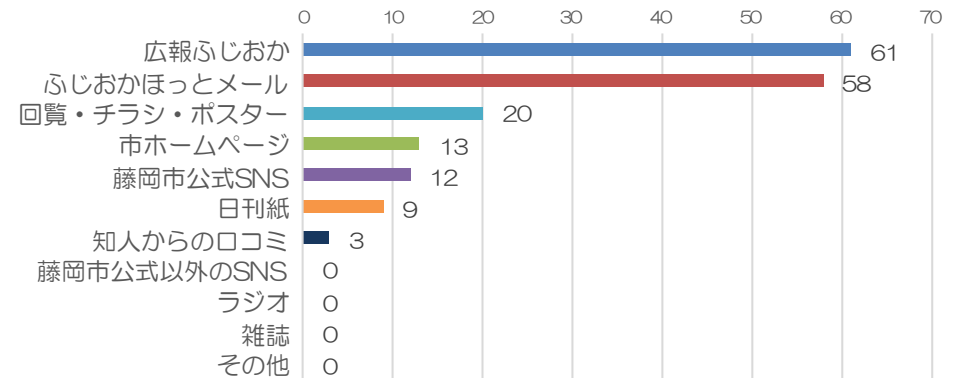
## Q5. 市からの情報をどこから入手していますか（主なものを3つまで）

【年代別回答】

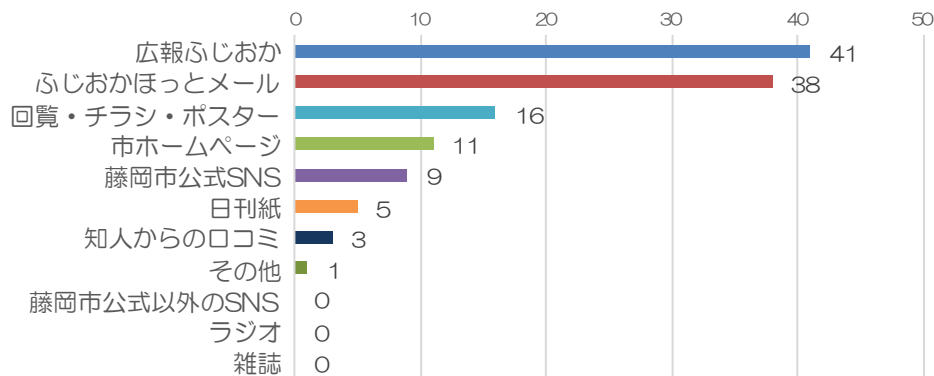
50歳代



60歳代



70歳代



- ・年代が高くなるごとに、市ホームページや SNS を利用し情報を取得している人の割合が低くなる傾向にある。
- ・各年代とも、広報ふじおかでの情報取得と同様に、ふじおかほっとメールの利用し情報を取得している割合も高い。

【その他回答：3件】

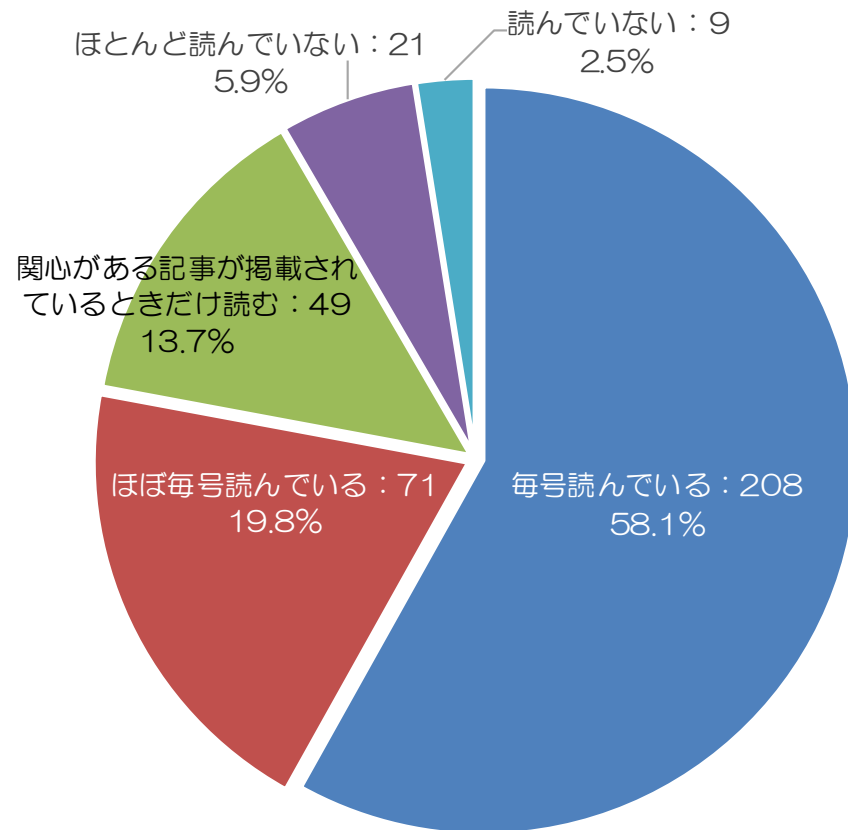
「テレビ（NHK）」などの回答がありました。

## 広報ふじおかについて

### Q6. 広報ふじおかをどれくらいの頻度で読んでいますか

・ 広報ふじおかを読む頻度について、最も多かったのは「毎号読んでいる」という回答で、208人（58.1%）がこの選択肢を選びました。次いで「ほぼ毎号読んでいる」という回答が71人（19.8%）で、また「関心がある記事が掲載されているときだけ読む」という回答も49人（13.7%）に上りました。

・ 多くの市民が広報ふじおかを定期的に読んでおり、特に「毎号読んでいる」という回答が過半数を占めることから、広報紙が市民にとって重要な情報源であることが伺えます。



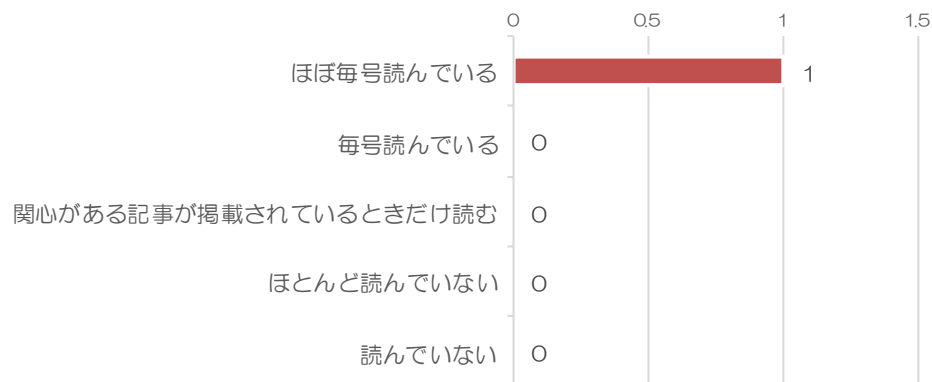
n=358

内容	回答数	割合
毎号読んでいる	208	58.1%
ほぼ毎号読んでいる	71	19.8%
関心がある記事があるときだけ読む	49	13.7%
ほとんど読んでいない	21	5.9%
読んでいない	9	2.5%

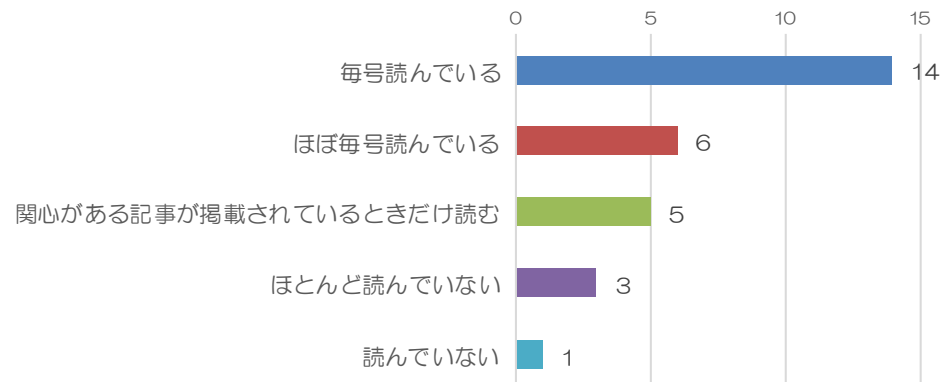
## Q6. 広報ふじおかをどれくらいの頻度で読んでいますか

【年代別回答】

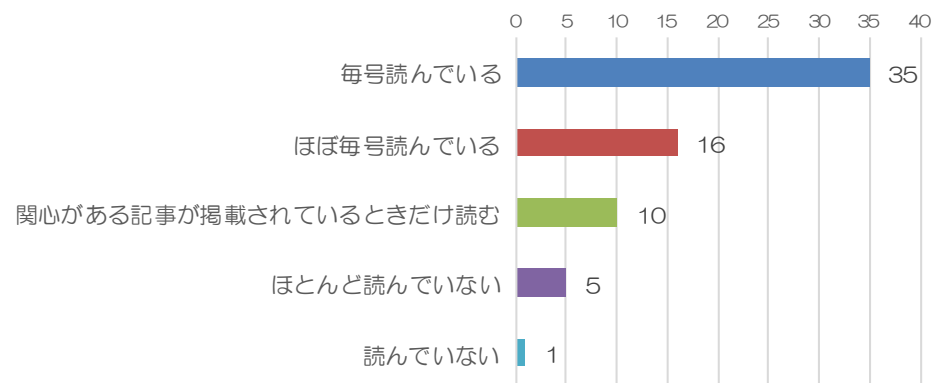
20歳未満



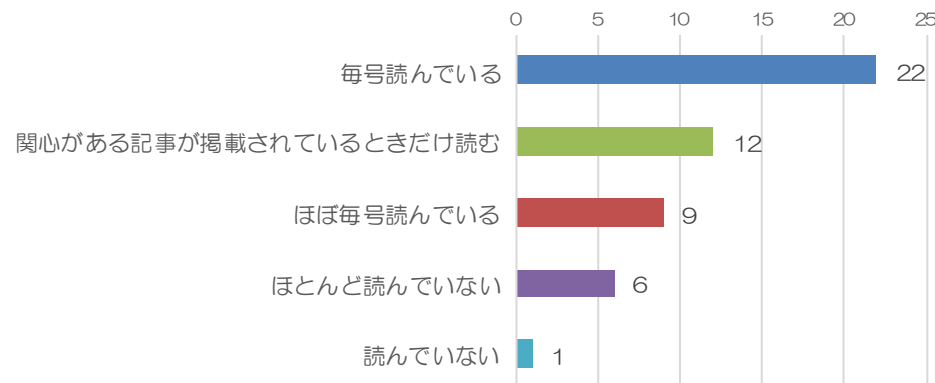
20歳代



30歳代



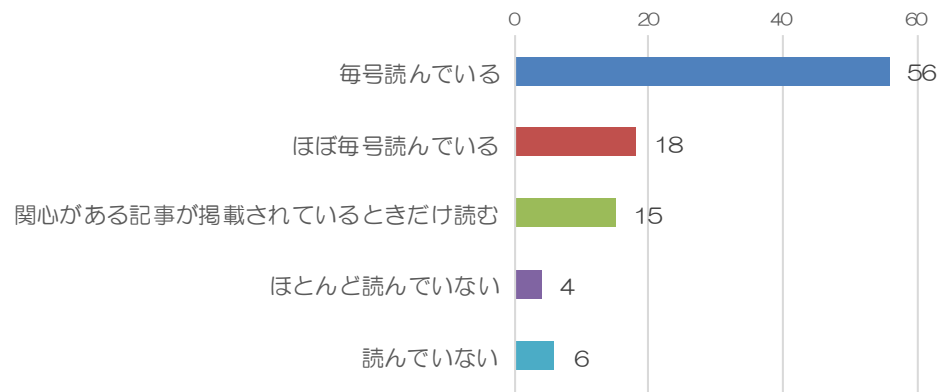
40歳代



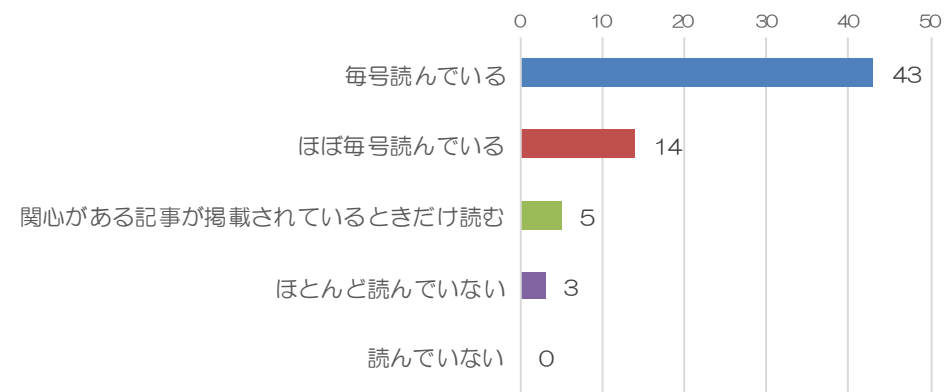
## Q6. 広報ふじおかをどれくらいの頻度で読んでいますか

【年代別回答】

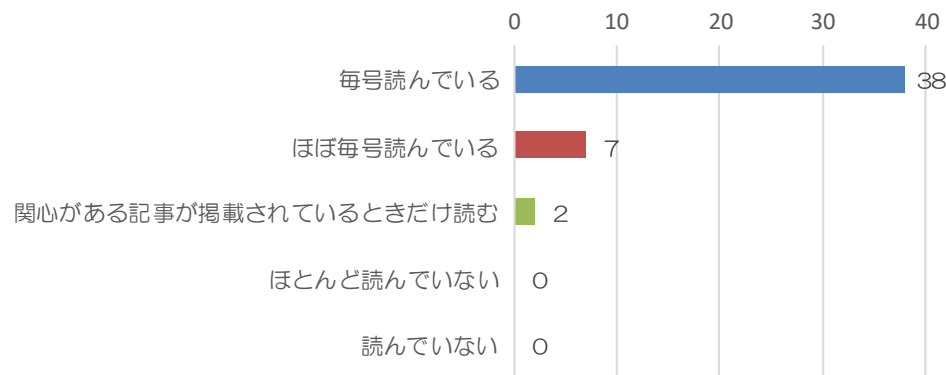
50歳代



60歳代



70歳以上

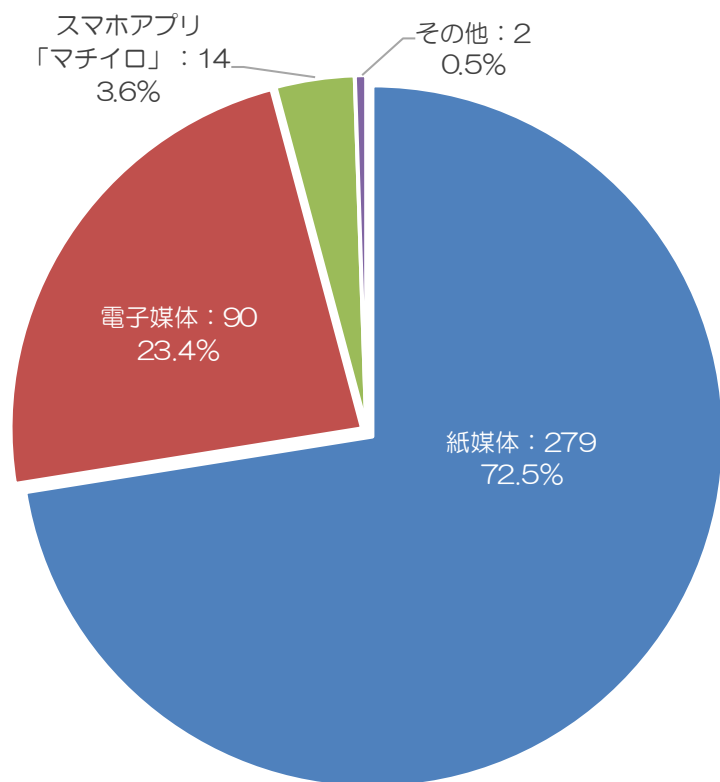


## Q7. 広報ふじおかをどの媒体で読んでいますか（複数回答可）

【Q6で「毎号読んでいる」「ほぼ毎号読んでいる」「関心がある記事が掲載されているときだけ読む」を選択した人のみ】

・「紙媒体」279人（72.5%）が回答率の7割を占めた。次いで「電子媒体」90人（23.4%）、「スマホアプリ」14人（3.6%）となった。

・市民の情報発信に対するメディアの利用状況は、依然として「紙媒体」に偏っていることが明らかとなりました。市民の情報収集手段として紙媒体が依然として主流であり、「電子媒体」や「スマホアプリ」への転換は、予想以上に時間がかかる可能性があり、今後も紙媒体に依存せざるを得ない状況が続くと考えられます。



n=358

内容	回答数	割合
紙媒体	279	72.5%
電子媒体	90	23.4%
スマホアプリ「マチイロ」	14	3.6%
その他	2	0.5%

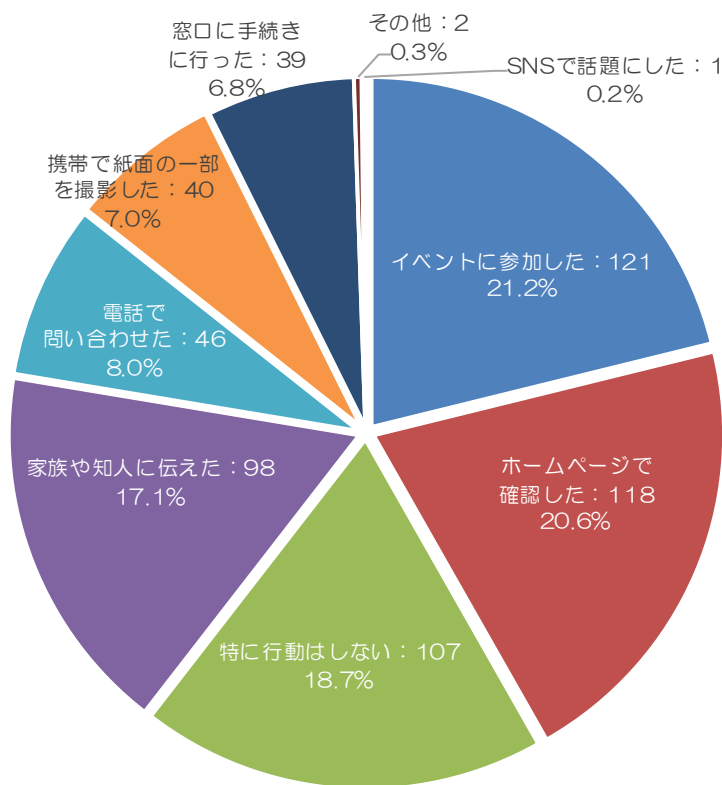
【その他回答：2件】

「イントラインフォメーション」の回答がありました。

## Q8. 広報ふじおかで興味がある記事を見つけたとき、どうしていますか（複数回答可）

【Q6で「毎号読んでいる」「ほぼ毎号読んでいる」「関心がある記事が掲載されているときだけ読む」を選択した人のみ】

- ・「イベントに参加した」121人（21.2%）が最も多い結果となりました。これに続くのは、「ホームページで確認した」と「家族や知人に伝えた」の回答がほぼ同数となっています。
- ・ホームページを利用して情報を確認したり、家族や知人を通じて情報を共有する方法も広く活用されていることから、これらの手段が市民間での情報拡散において大きな役割を果たしていることが分かります。



n=572

内容	回答数	割合
イベントに参加した	121	21.2%
ホームページで確認した	118	20.6%
特に行動はしない	107	18.7%
家族や知人に伝えた	98	17.1%
電話で問い合わせた	46	8.0%
携帯で紙面の一部を撮影した	40	7.0%
窓口に手続きに行った	39	6.8%
その他	2	0.3%
SNSで話題にした	1	0.2%

【その他回答：2件】

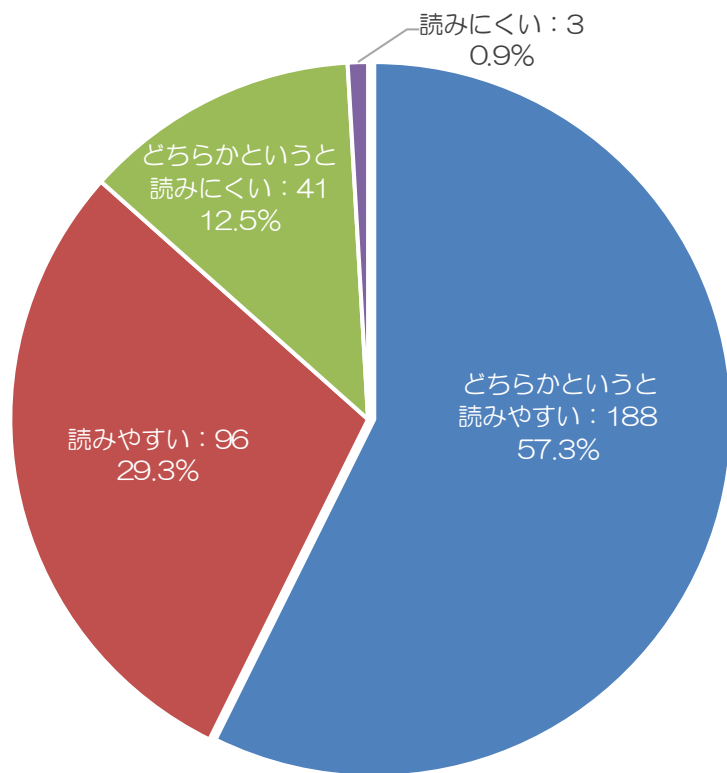
「関係者に確認」の回答がありました。

## Q9. 広報ふじおかを読みやすいと思いますか

【Q6で「毎号読んでいる」「ほぼ毎号読んでいる」「関心がある記事が掲載されているときだけ読む」を選択した人のみ】

・「広報ふじおか」の読みやすさについて、最も多かった回答は「どちらかという読みやすい」で、188人（57.3%）がこの選択肢を選びました。次いで「読みやすい」と回答したのは96人（29.3%）で、全体の約87%が広報紙を「読みやすい」と感じていることがわかります。一方で、「どちらかという読みにくい」と感じたのは41人（12.5%）にとどまりました。

・広報ふじおかが、市民にとっておおむね読みやすいと評価されていることが伺えます。大多数の市民が内容を理解しやすいと感じている一方で、少数派では読みづらいつ感じている人もいるため、今後はさらに一層の工夫を凝らし、より多くの市民が読みやすいと感じるような改善を行っていくことが求められます。

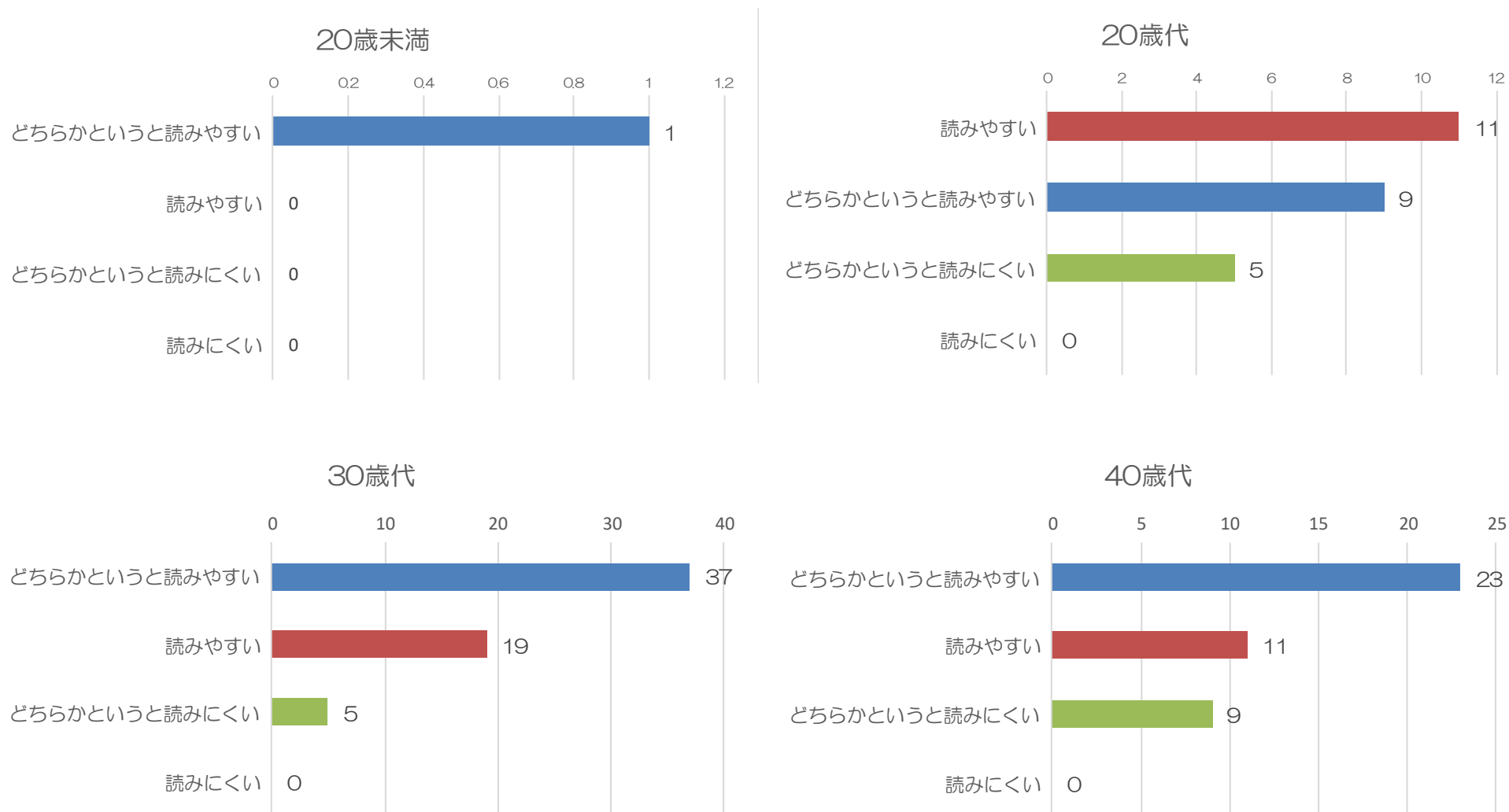


n=328

内容	回答数	割合
どちらかという読みやすい	188	57.3%
読みやすい	96	29.3%
どちらかという読みにくい	41	12.5%
読みにくい	3	0.9%

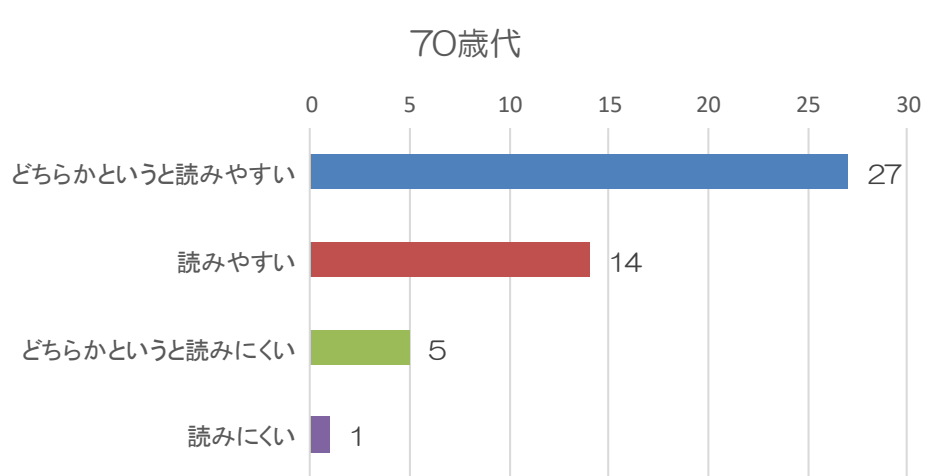
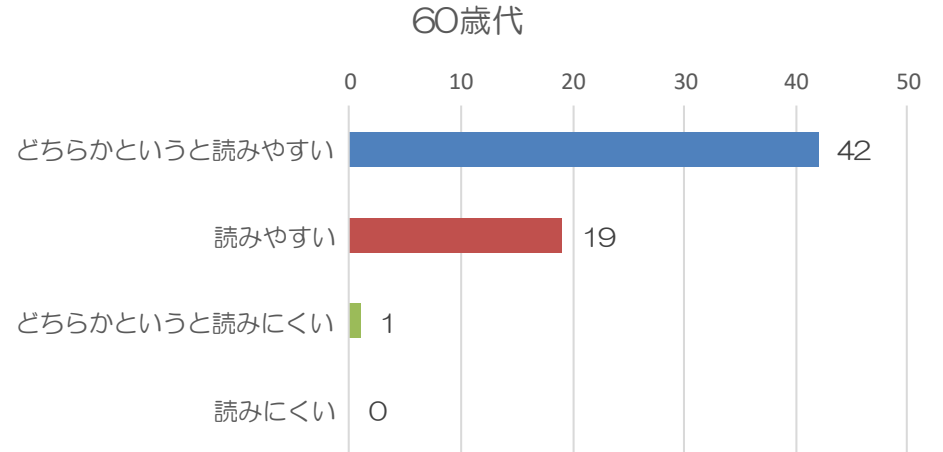
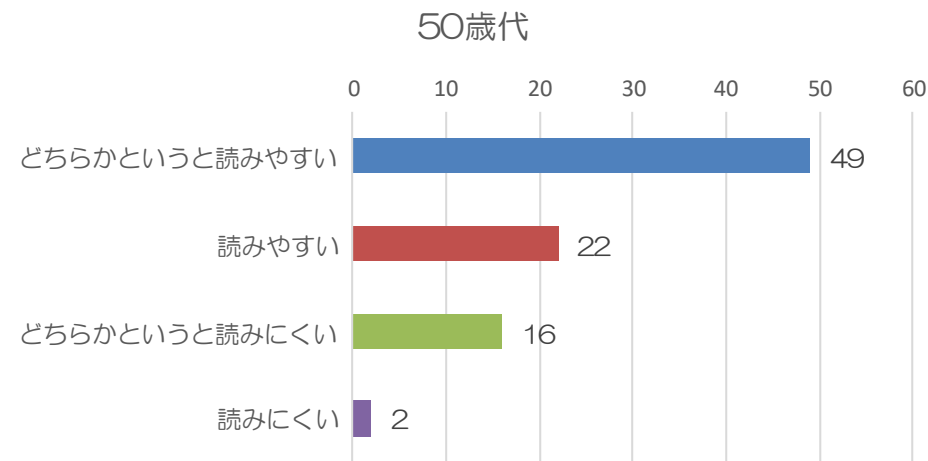
## Q9. 広報ふじおかを読みやすいと思いますか

【年代別回答】



## Q9. 広報ふじおかを読みやすいと思いますか

【年代別回答】

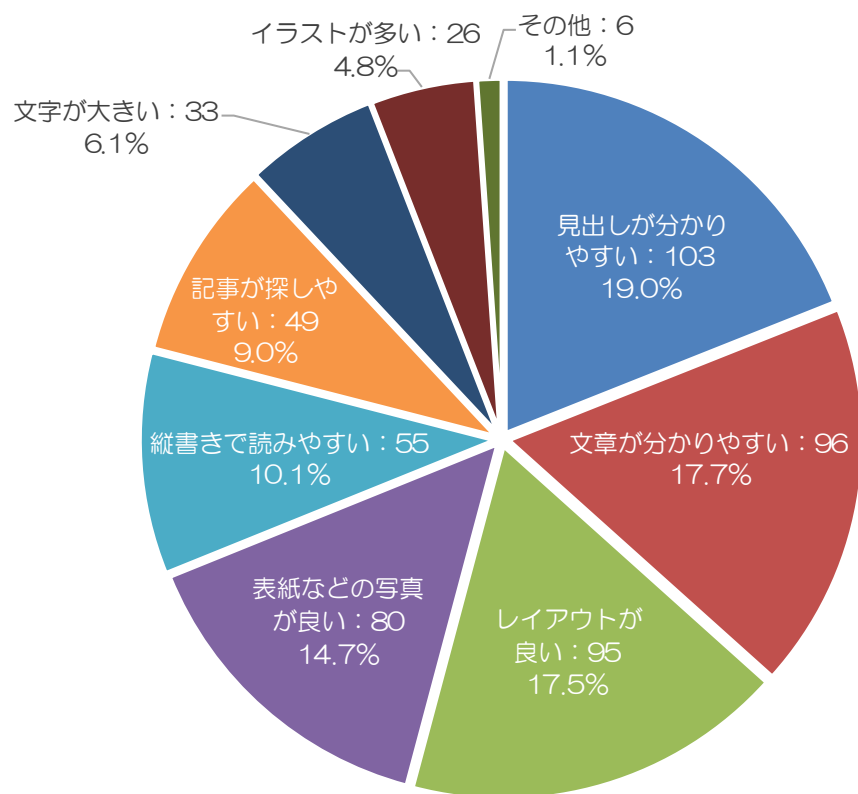


## Q 10. 広報ふじおかを読みやすいと思う理由は何ですか（主なものを3つまで）

【Q 9で「読みやすい」「どちらかという読みやすい」を選択した人のみ】

・読みやすいと思う理由を見ると、市民からの評価は非常に良好であることが分かります。特に、「見出しが分かりやすい」という回答が103人（19.0%）と最も多く、広報紙を手にとったときに目を引く見出しが、読者にとって非常に大切であり、情報を効率よく得るための入り口として機能していることが伺えます。

・広報ふじおかは、市民にとって読みやすく、親しみやすい広報紙であることが示されており、今後も見出しや文章、レイアウトといった要素をバランスよく強化することで、更なる関心を引き、より多くの市民に有益な情報を届けることができると考えられます。



n=543

内容	回答数	割合
見出しが分かりやすい	103	19.0%
文章が分かりやすい	96	17.7%
レイアウトが良い	95	17.5%
表紙などの写真が良い	80	14.7%
縦書きで読みやすい	55	10.1%
記事が探しやすい	49	9.0%
文字が大きい	33	6.1%
イラストが多い	26	4.8%
その他	6	1.1%

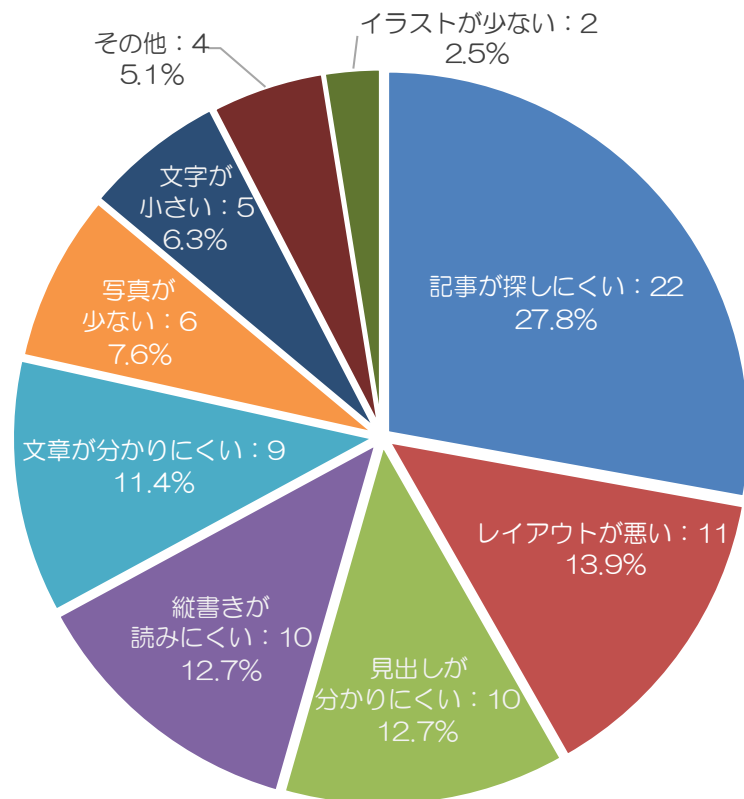
【その他回答：6件】

「見慣れているので読みやすく感じる」「読み慣れているから」などの回答がありました。

## Q 11. 広報ふじおかを読みにくいと思う理由は何ですか（主なものを3つまで）

【Q 9で「どちらかという読みにくい」「読みにくい」を選択した人のみ】

・最も多かったのは「記事が探しにくい」(27.8%)で、目次やカテゴリー分けを改善することが求められています。次に「レイアウトが悪い」(13.9%)、「見出しが分かりにくい」(12.7%)や「縦書きが読みにくい」(12.7%)との意見もありました。最後に「文章が分かりにくい」(11.4%)という回答もあり、シンプルでわかりやすい文章作成が求められていることが分かります。



n=79

内容	回答数	割合
記事が探しにくい	22	27.8%
レイアウトが悪い	11	13.9%
見出しが分かりにくい	10	12.7%
縦書きが読みにくい	10	12.7%
文章が分かりにくい	9	11.4%
写真が少ない	6	7.6%
文字が小さい	5	6.3%
その他	4	5.1%
イラストが少ない	2	2.5%

【その他回答：4件】

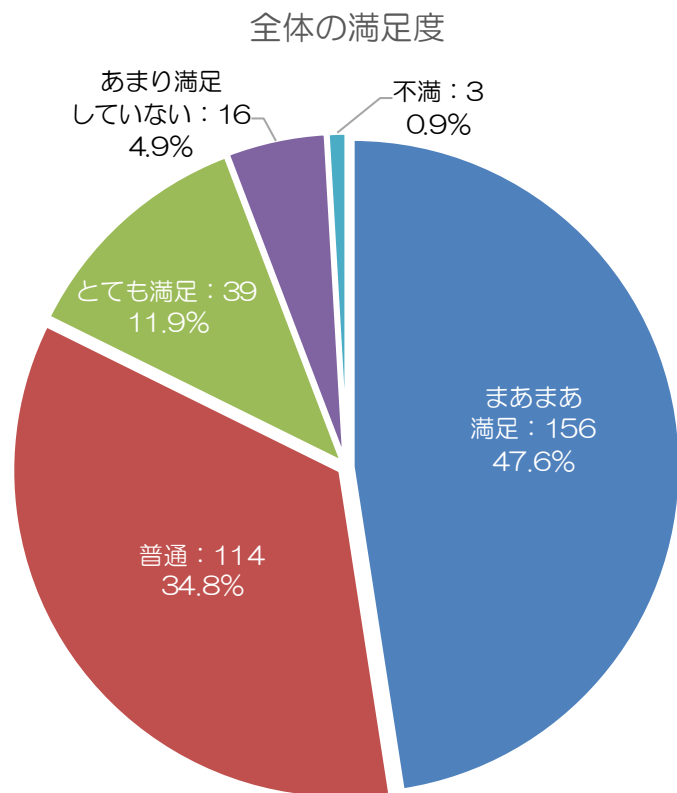
「冊子のように留められてない」「月1回発行となり情報量が多くなって少し読みにくい」などの回答がありました。

## Q 12. 広報ふじおかについて当てはまるものは何ですか

### 【全体の満足度】

・主な傾向として、約半数（47.6%）の人が「まあまあ満足している」と回答しており、これは一定の満足度があることを示しています。次いで、「普通」と感じている人が34.8%を占めており、広報に対して特に強い評価もなければ不満もないという中立的な意見が多いことがわかります。

・「とても満足」「まあまあ満足」は、合わせて約59.5%となり、一定の評価を受けていることが確認できました。



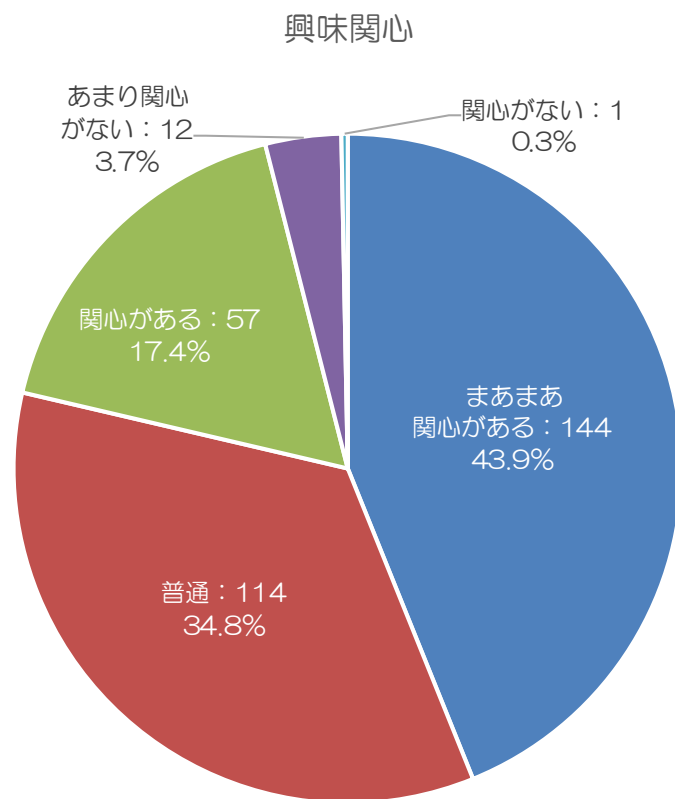
n=328

内容	回答数	割合
まあまあ満足	156	47.6%
普通	114	34.8%
とても満足	39	11.9%
あまり満足していない	16	4.9%
不満	3	0.9%

## Q 12. 広報ふじおかについて当てはまるものは何ですか

### 【興味関心】

- ・約4割(43.9%)の回答者が「まあまあ関心がある」と答えており、「普通」と答えた人(34.8%)、「関心がある」と答えた人(17.4%)と合わせると、9割以上の人がある一定の関心を持っていることが分かります。
- ・一方で、「あまり関心がない」や「興味がない」といった、関心が薄いと感じている人は少数派で、全体の4%未満にとどまりました。



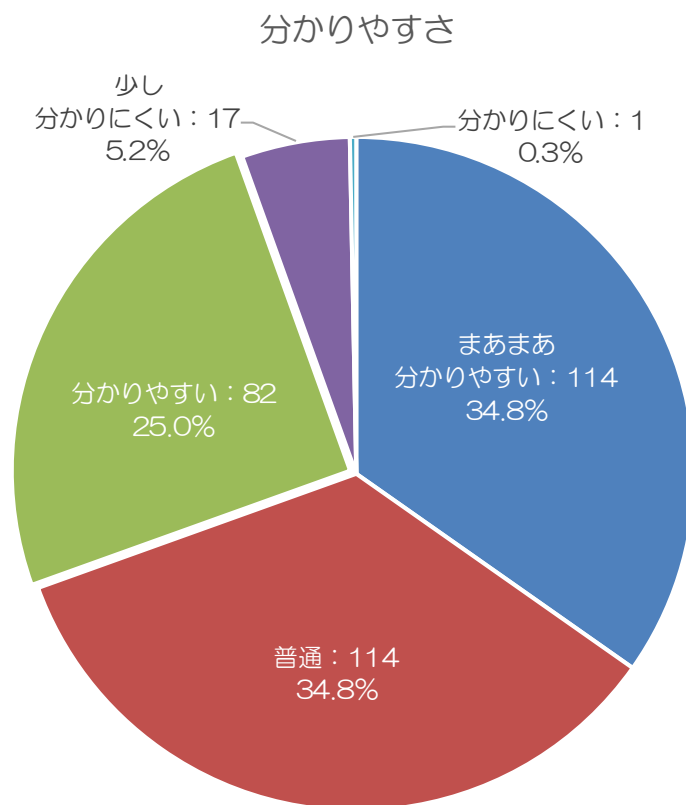
n=328

内容	回答数	割合
まあまあ関心がある	144	43.9%
普通	114	34.8%
関心がある	57	17.4%
あまり関心がない	12	3.7%
興味がない	1	0.3%

## Q 12. 広報ふじおかについて当てはまるものは何ですか

### 【分かりやすさ】

- ・約60%の市民が「分かりやすい」と評価しており、概ね好評です。さらに34.8%の人は「普通」と感じているため、多くの人が特に問題なく理解できていると考えられます。
- ・一方で、分かりにくいと感じている層は非常に少数派であり、広報内容の分かりやすさには大きな問題はないと言えます。



n=328

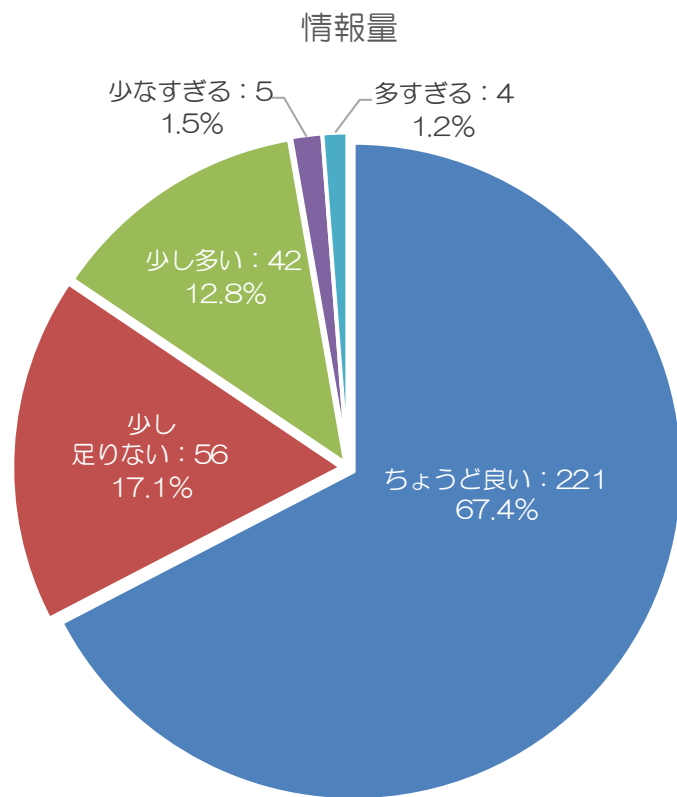
内容	回答数	割合
まあまあ分かりやすい	114	34.8%
普通	114	34.8%
分かりやすい	82	25.0%
少し分かりにくい	17	5.2%
分かりにくい	1	0.3%

## Q 12. 広報ふじおかについて当てはまるものは何ですか

### 【情報量】

・約67%の市民が「ちょうど良い」と感じており、現在の情報量に大多数が満足していることがわかります。少数派では、情報が「少し足りない」と感じる人（17.1%）や、逆に「少し多い」と感じる人（12.8%）もいますが、全体としてはバランスの取れた情報量だと言えます。

・極端に情報が少ないと感じている人は非常に少なく、全体的に見ると広報ふじおかの情報量は市民にとっておおむね適切だと考えられます。



n=328

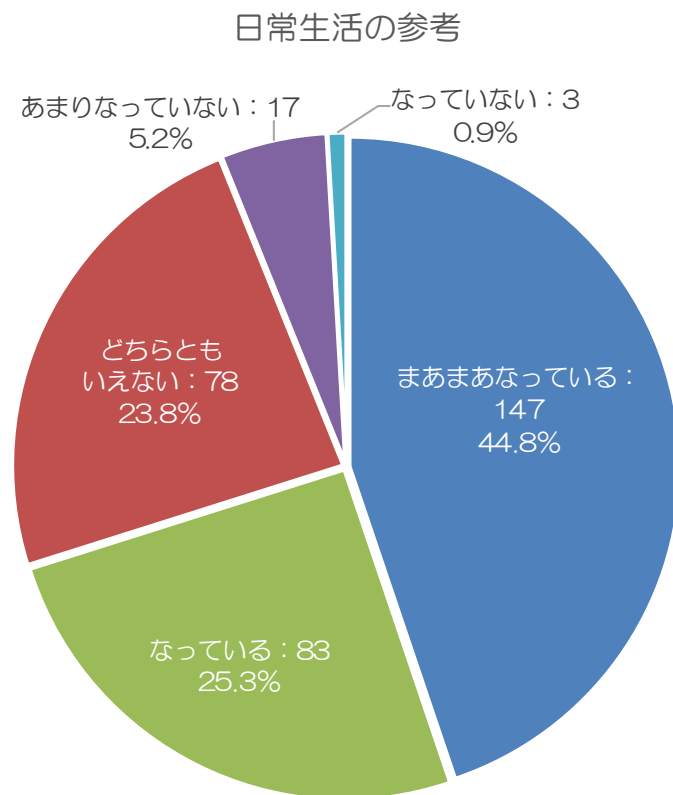
内容	回答数	割合
ちょうど良い	221	67.4%
少し足りない	56	17.1%
少し多い	42	12.8%
少なすぎる	5	1.5%
多すぎる	4	1.2%

## Q 12. 広報ふじおかについて当てはまるものは何ですか

### 【日常生活の参考】

・「まあまあなっている」という回答が最も多く、147人（44.8%）に上ります。この結果から、多くの市民が広報ふじおかを日常生活の参考にしていると考えられます。次に「なっている」83人（25.3%）が続いており、全体で約70%の人々が広報ふじおかが一定程度日常生活に役立っていると感じていることが分かります。

・全体として、広報ふじおかは市民の日常生活において一定の影響を与えていることがわかります。特に、「まあまあなっている」と感じる市民が多いため、広報の内容や形式に対する一定の満足感があることが伺えます。



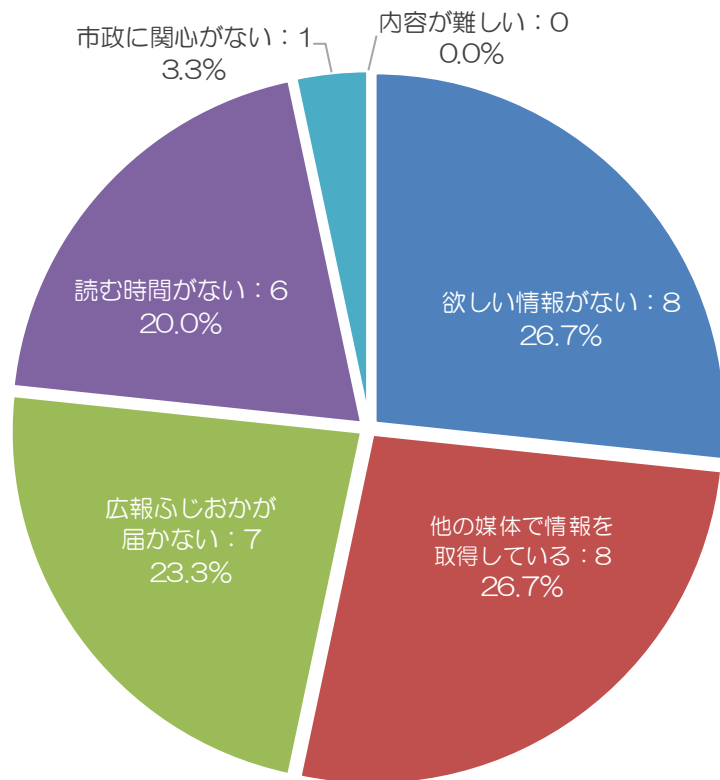
n=328

内容	回答数	割合
まあまあなっている	147	44.8%
なっている	83	25.3%
どちらともいえない	78	23.8%
あまりなっていない	17	5.2%
なっていない	3	0.9%

## Q 13. 広報ふじおかを読まない理由は何ですか

【Q6で「ほとんど読んでいない」「読んでいない」を選択した人のみ】

- ・「欲しい情報がない」「他の媒体で情報を取得している」という回答が8人（26.7%）で同率という結果となりました。広報ふじおか以外の方法（インターネット、SNS、テレビなど）で情報を得ている人が多いことを示唆しています。デジタルメディアの普及により、情報源の多様化が進んでいる現状を反映していると言えます。
- ・また、広報ふじおかに掲載される情報が自分のニーズに合わないと感じている市民が一定数いることを示しています。



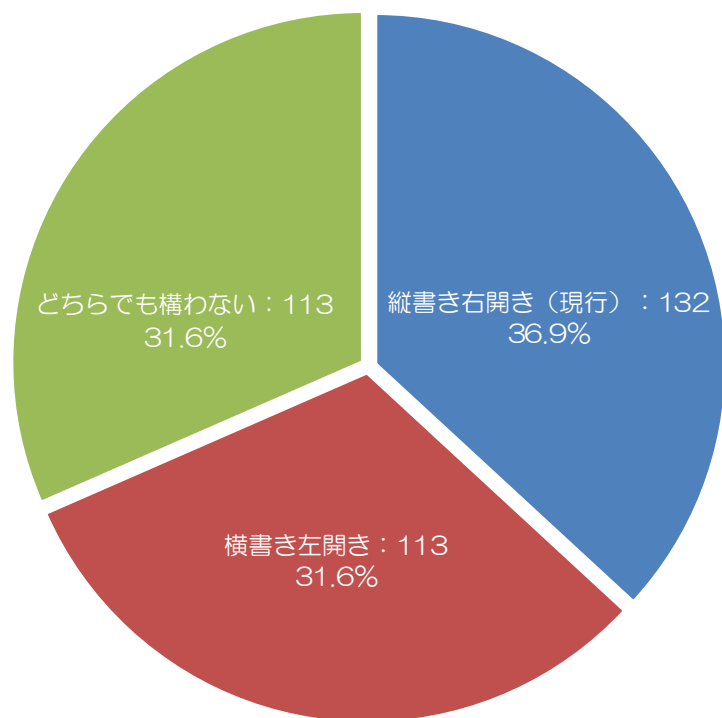
n=30

内容	回答数	割合
欲しい情報がない	8	26.7%
他の媒体で情報を取得している	8	26.7%
広報ふじおかが届かない	7	23.3%
読む時間がない	6	20.0%
市政に関心がない	1	3.3%
内容が難しい	0	0.0%

## Q 14. 広報ふじおかは「縦書き右開き」「横書き左開き」のどちらが読みやすいですか

・「縦書き右開き」が 132 人 (36.9%) という結果で、最も多くの支持を集めています。このことから、現行の形式に満足している市民が一定数存在し、縦書きスタイルを好む層が一定程度いることが分かります。特に、年配の市民などが縦書きに慣れ親しんでいる可能性も考えられます。

・現行の「縦書き右開き」は一定の支持を集めていますが、「横書き左開き」も同様に一定の支持を受けており、市民には好みが見られることが伺えます。また、「どちらでも構わない」という層も少なくないため、形式変更に対する抵抗感は少ないことがわかります。今後の広報の形式については、内容の充実を最優先に考えつつ、より多くの市民に親しまれる形式を模索することが重要です。

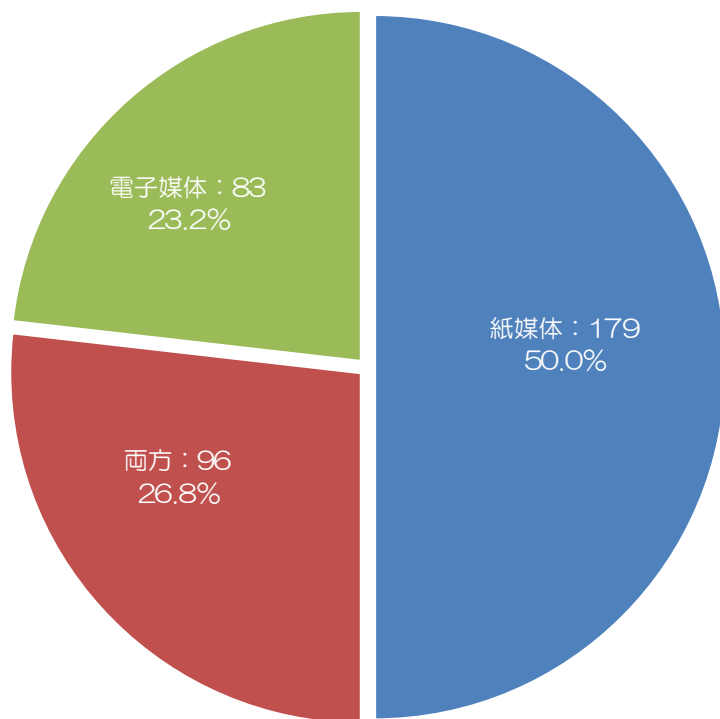


n=358

内容	回答数	割合
縦書き右開き (現行)	132	36.9%
横書き左開き	113	31.6%
どちらでも構わない	113	31.6%

## Q 15. 広報ふじおかをどのような形式で読みたいですか

- ・「紙媒体」が 179 人（50.0%）という結果で、最も多くの支持を得ています。これは市民の約半数が紙の広報を好んでいることを示しており、特に高齢者層やデジタルに不安を感じる市民が多い可能性が考えられます。紙媒体には視認性や手軽に手に取れる利点があり、情報の受け取りやすさや親しみやすさを重視する層からの支持が大きいことが伺えます。
- ・紙と電子を併用したいという声も多く、電子媒体のニーズも一定数存在しています。このことから、今後の広報は紙媒体と電子媒体のハイブリッド型での提供が、市民全体のニーズに応える有効な方法であると考えられます。



n=358

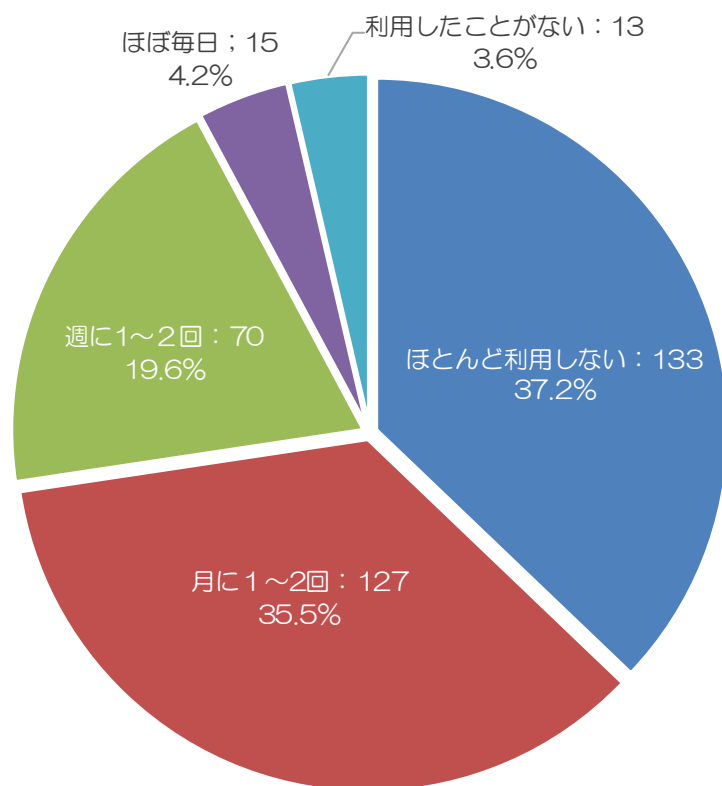
内容	回答数	割合
紙媒体	179	50.0%
両方	96	26.8%
電子媒体	83	23.2%

## 市ホームページについて

### Q 16. 市ホームページをどれくらい利用していますか

・市ホームページの利用結果は、全体として「ほとんど利用しない」という層が最も多いですが、月に数回利用する層も一定数います。毎日や週に頻繁に利用している層は少数派であり、市のホームページに対する依存度は低いことが分かります。考えられる要因として、他の情報源（紙媒体、SNS、口頭での情報提供など）を使っている市民が多いと予想されます。

・市ホームページの利用は、広報活動を通じてホームページを積極的に利用するよう促すことも重要です。広報ふじおかやSNS、ほっとメールを通じて、ホームページに掲載された有益な情報をアピールすることが考えられます。

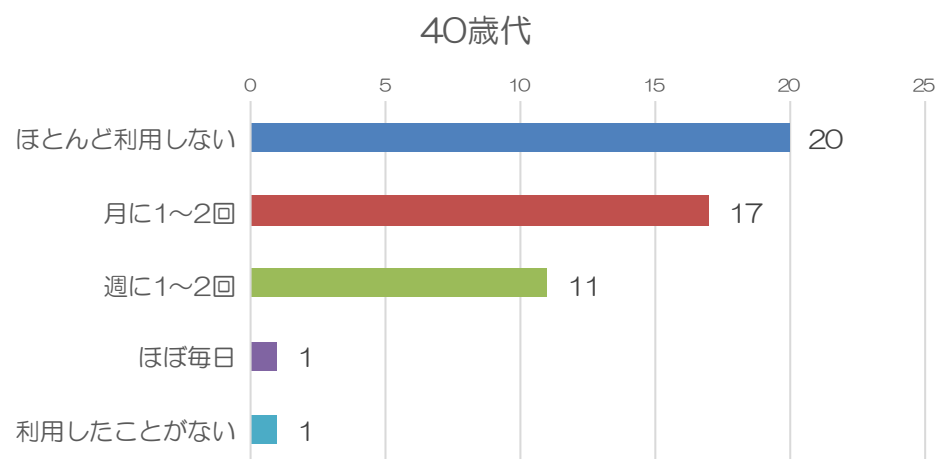
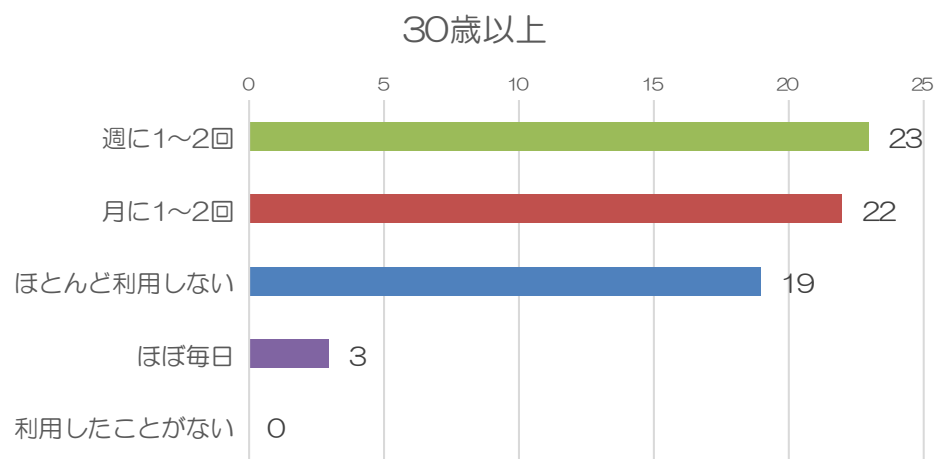
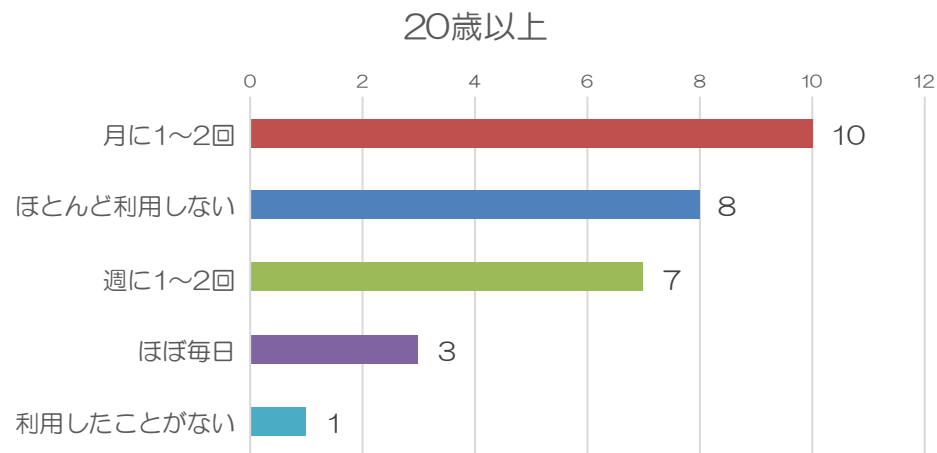
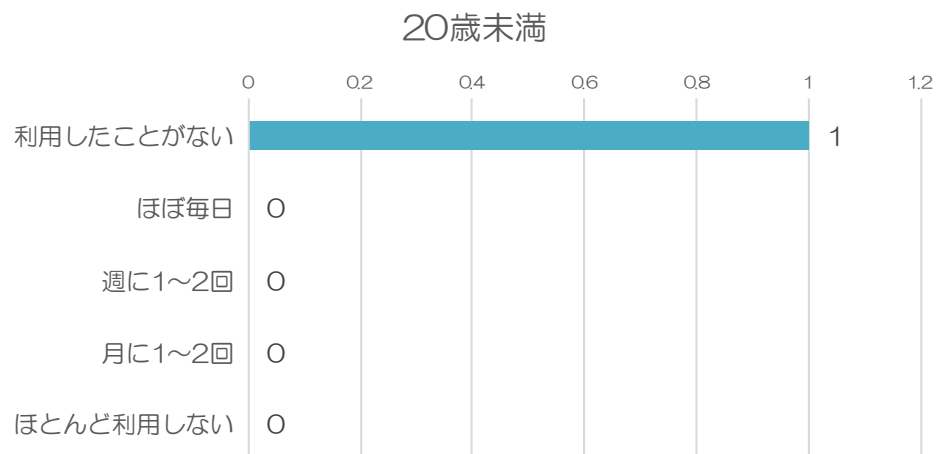


n=358

内容	回答数	割合
ほとんど利用しない	133	37.2%
月に1~2回	127	35.5%
週に1~2回	70	19.6%
ほぼ毎日	15	4.2%
利用したことがない	13	3.6%

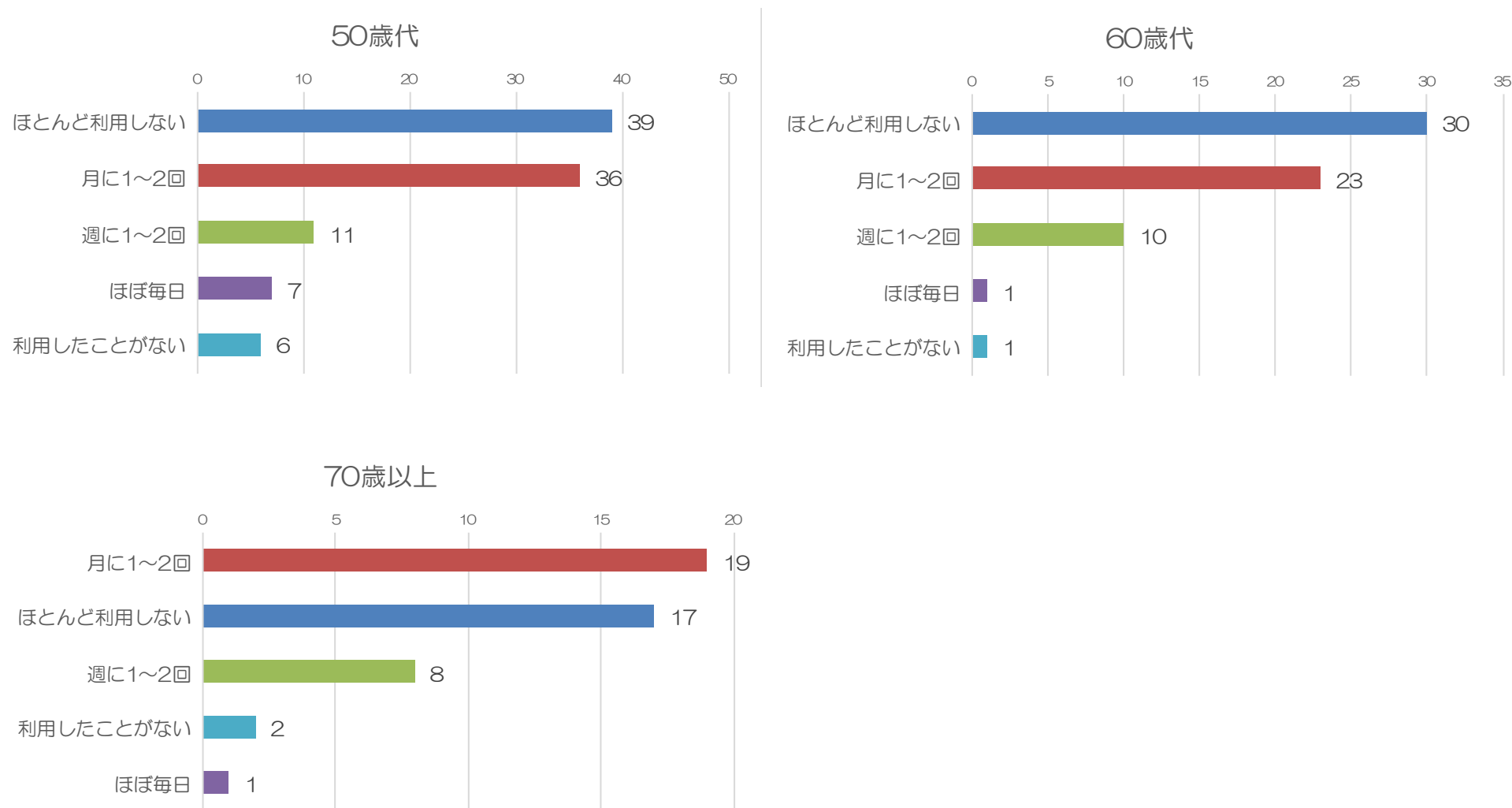
## Q 16. 市ホームページをどれくらい利用していますか

【年代別回答】



## Q 16. 市ホームページをどれくらい利用していますか

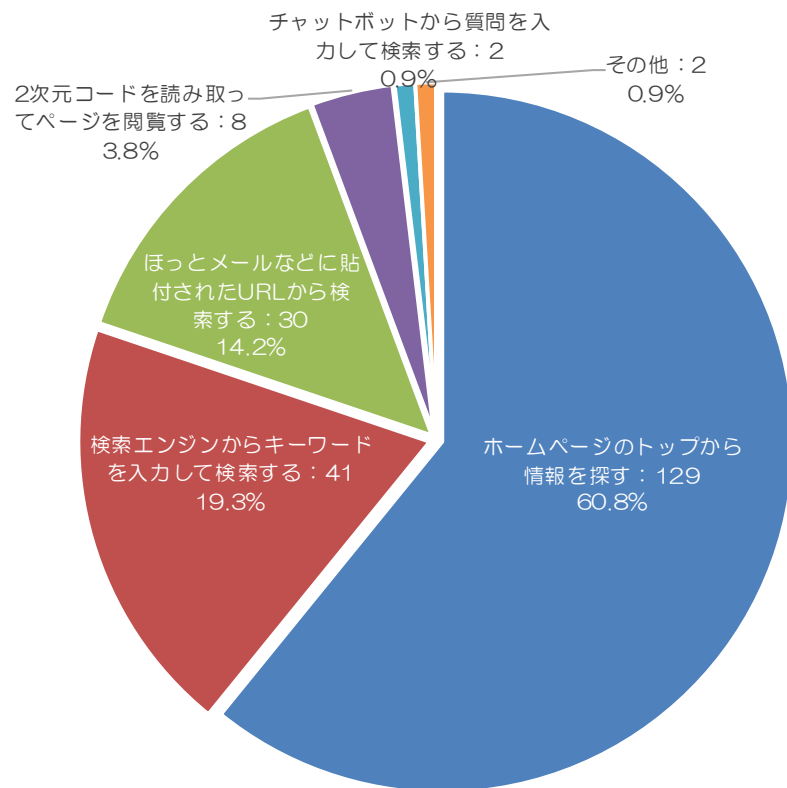
【年代別回答】



## Q 17. 市ホームページを閲覧する際に最もよく利用する方法は何ですか

【Q 16で「ほぼ毎日」「週に1～2回」「月に1～2回」を選択した人のみ】

・市のホームページを利用する方法に関して、トップページから情報を探す方法が最も多く、検索エンジン経由で情報を探す市民も一定数存在することが分かりました。さらに、LINE やメールの URL を活用する層もあり、これらのデジタルツールを利用した情報提供が効果的であることが示されています。2次元コードやAI チャットボットの利用は少数派であり、これらの機能の活用促進が今後の課題と考えられます。



n=212

内容	回答数	割合
ホームページのトップから情報を探す	129	60.8%
Google や Yahoo などの検索エンジンから情報を入力して検索	41	19.3%
ほっとメールや公式 LINE に貼付された URL からページを検索	30	14.2%
広報ふじおかに掲載された2次元コードを読み取る	8	3.8%
AI チャットボットから質問を入力して検索	2	0.9%
その他	2	0.9%

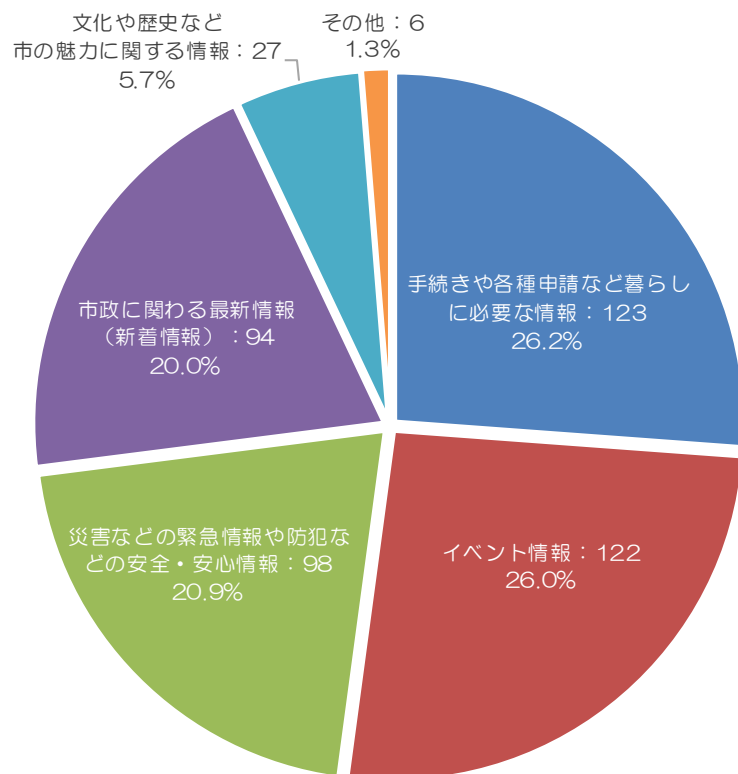
【その他回答：2件】

「組織から探す」で入って該当の課のページを見る」の回答がありました。

## Q 18. 市ホームページでどのような内容を閲覧していますか（複数回答可）

【Q 16で「ほぼ毎日」「週に1～2回」「月に1～2回」を選択した人のみ】

・「手続きや各種申請など暮らしに必要な情報」が123人（26.2%）と最も多く、最も多くの市民が関心を持っている内容となっています。これにより、市民が市ホームページを利用する目的の中で、日常生活に欠かせない行政手続きや申請手続きに関する情報が最も重要であることが分かります。この傾向は、情報提供の透明性や手続きの簡便さを求める市民のニーズを反映しています。次いで、「イベント情報」が122人（26.0%）で、手続き情報に次いで多くの市民が関心を持っている内容です。市民は地域のイベントや行事情報に高い関心を持っており、これに基づいた情報提供が重要であることが分かります。



n=470

内容	回答数	割合
手続きや各種申請など暮らしに必要な情報	123	26.2%
イベント情報	122	26.0%
災害などの緊急情報や防犯などの安全・安心情報	98	20.9%
市政に関わる最新情報（新着情報）	94	20.0%
文化や歴史など市の魅力に関する情報	27	5.7%
その他	6	1.3%

【その他回答：6件】

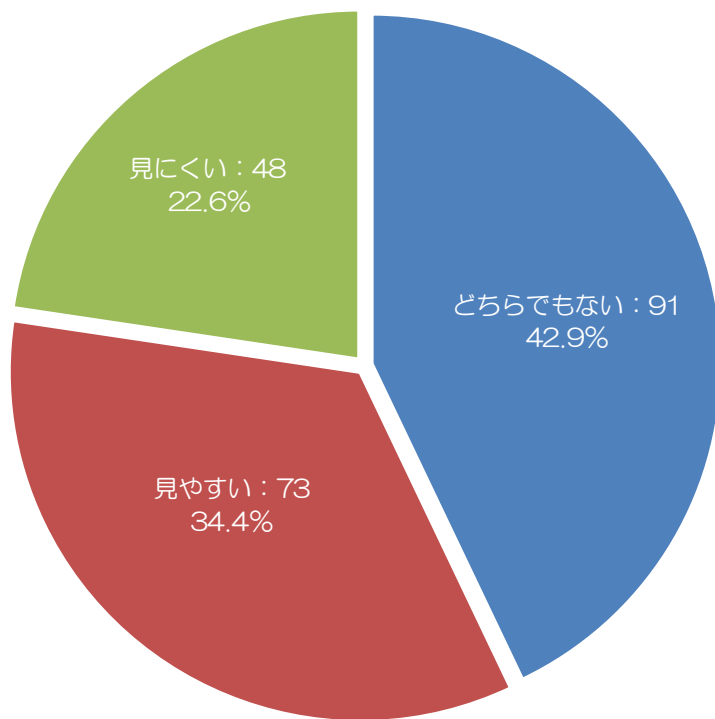
「保育、子育て関連の情報」「興味があるもので詳しく知りたいこと全般」などの回答がありました。

## Q 19. 市ホームページを利用した感想はどうか

【Q 16で「ほぼ毎日」「週に1～2回」「月に1～2回」を選択した人のみ】

・「どちらともいえない」が91人（42.9%）と最も多い回答でした。この結果から、市のホームページに対して中立的な立場を取る市民が多いことが分かります。市民の半数近くがホームページに対して強い好印象や悪印象を持っていない、もしくはその評価に迷っている可能性があります。

・一方で、「見やすい」が73人（34.4%）と一定数存在しており、現状の構成やデザインが評価されている側面もあることがわかります。しかし、「見にくい」が48人（22.6%）と約2割を占めており、無視できない規模の利用者が使いづらさを感じている点があることがわかります。



n=212

内容	回答数	割合
どちらともいえない	91	42.9%
見やすい	73	34.4%
見にくい	48	22.6%

## Q 20. 市ホームページを利用した感想はどうか（自由意見）

【Q 19 で回答した人のみ】

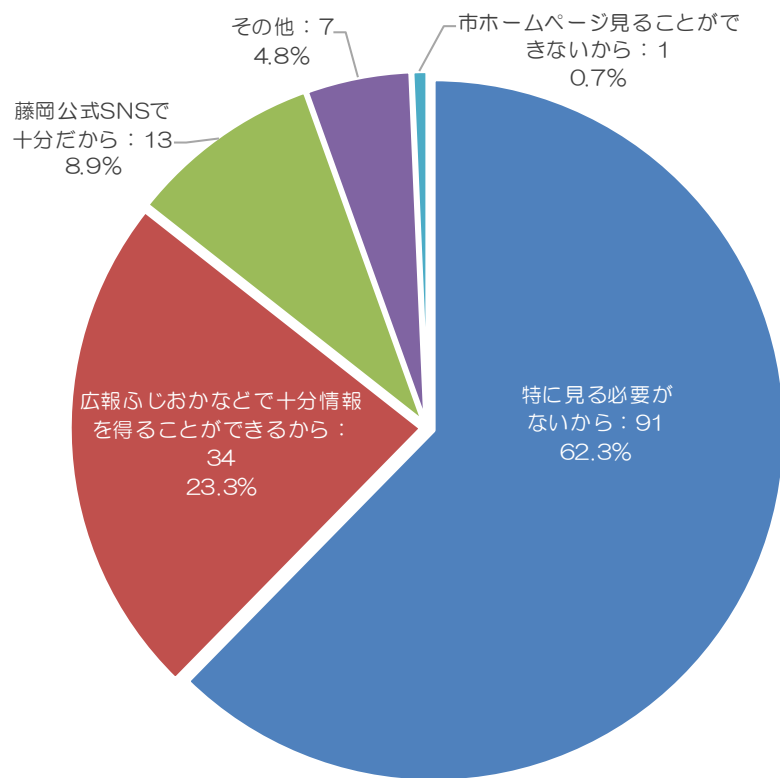
- ・原則、原文のまま掲載しています。
- ・本調査と関係のない内容のものや、内容が不明確なものに関しては掲載していません。
- ・ページが整理されている。
- ・見慣れているから。
- ・わかりやすい所とわかりにくい所と両方ある
- ・わかりやすい
- ・レイアウトが見やすい
- ・他市町村よりも見やすいと感じます。複数の見出しやアイコンが、隣同士で少し隙間ができてるのが見やすいのだと思う。枠同士がくっついていたりすると、窮屈に感じますし。
- ・文字が小さい
- ・写真やイラストの表現について、記事の内容と一致しており、「見やすい」と感じている。
- ・検索を活用すれば必要な情報にたどり着くものの、AI の検索では必要な情報にたどり着きにくいいため。
- ・分類や関連ページのリンクが分かりにくいから
- ・目的のページへすぐ辿りつける。
- ・希望する内容がヒットしない場合がある事
- ・ページが深層化されすぎているように思う
- ・見出しの文字が大きくて良い
- ・記事によって、読みやすいところと、そうでないところがあり、伝え方がまちまち
- ・無駄が多い、情報不足気味
- ・ジャンルが分かりづらい
- ・検索中にページがとんでしまうこともあり（多分操作ミスもあり）欲しい情報にいき着かないことがある
- ・知りたい情報のカテゴリ別になっていて、自分が思っていたのと違うジャンルにカテゴリ分けされていて、すぐに情報にたどり着けないことがあるため

- ・市内での決まり事の確認、申請等手続きに活用
- ・記載内容や文書構成が簡潔明瞭
- ・カテゴリー別の最新情報が一目で確認できない。検索するのではなく、カテゴリー別の最新情報がかんいに見えたほうが使いやすいと思います
- ・担当課が見つけづらい
- ・年齢のせい、画面をみていてスナリ理解しづらい
- ・自分で知りたい情報やイベント手続きなどが検索のみでわざわざ市に電話で問い合わせしなくてもすぐに把握出来るので便利です。
- ・ホームページだけでは、詳細が分からず、あとは電話確認するような掲載内容になっていて、結局電話で確認するようになる。ホームページで内容が分かるように、内容を充実してほしい。
- ・組織から探すはスムーズに探せるが、暮らしの場面から探すのページからだとほしい情報が探せないことがある。
- ・画面で収集すると情報が早目にキャッチ可能で便利で助かります !!
- ・一目見てわかりやすい
- ・知りたい情報がすぐに検索できる。
- ・ページによって情報量に偏りがあるため、なんともいえない。
- ・昔よりは見やすくなったと思います
- ・これと言って特徴もないが、閲覧しにくいこともない、ごく普通の HP だと思うので。
- ・URL から直接見たい情報を見ているから。ただし、ホームページのトップから見たい情報を探しに行くときは、正直な話し、見つけるのが難しい。
- ・写真が多く見易い。
- ・ここ数年でホームページが見やすくなった 毎年良くなってるように感じる
- ・ほんとメールで見るので！
- ・高齢者にもわかりやすい
- ・イベント関連のページで、トップタイトルだけなのに「終了しました」があり、本文に何も記載がないのは読みづらかった
- ・ふじまるのページは気に入っています。ゴミ出しは複雑なので一覧できるといいなと思います。
- ・可も不可も無く、他のホームページ等と比較しても、普通に利用できるから

## Q 21. 市ホームページを利用しない理由は何ですか

【Q 16 で「ほとんど利用しない」「利用したことがない」を選択した人のみ】

- ・「特に見る必要がないから」が 91 人 (62.9%) と最も多く、利用者の大半が他の方法で情報を得ていることがわかります。この結果から、市民がホームページに頼らずとも、他の情報提供手段で十分に情報を得ていることが読み取れます。
- ・次に、「広報ふじおかななどで十分情報を得ることができるから」が 34 人 (23.3%) で、これも一定の割合を占めており、広報や他の媒体での情報取得が好まれている、またはその方がアクセスしやすいと感じている市民が多いことがわかります。



n=146

内容	回答数	割合
特に見る必要がないから	91	62.3%
広報ふじおかななどで十分情報を得ることができるから	34	23.3%
藤岡公式 SNS で十分だから	13	8.9%
その他	7	4.8%
市ホームページを見ることができないから	1	0.7%

【その他回答：7件】

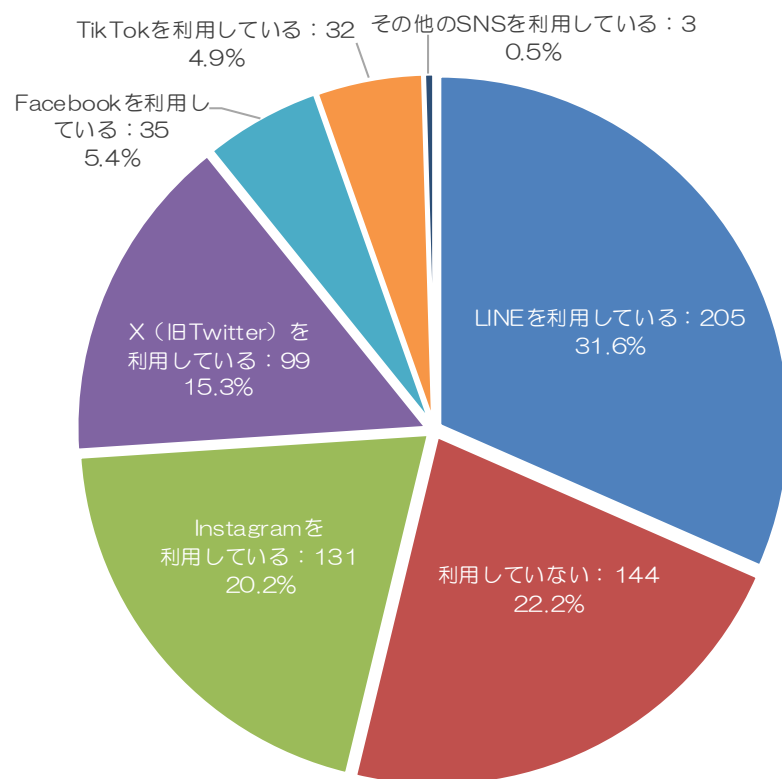
「見るまでが面倒だから」「特に開ける必要を感じていないから」「興味が湧かない」などの回答がありました。

## 市公式 SNS について

### Q 22. SNS を利用していますか（複数回答可）

・LINE を利用している」が31.6%と最も多い結果となりました。LINE は、特に日本で普及しているコミュニケーションツールであり、個人間の連絡手段だけでなく、グループチャットや公式アカウントの情報提供ツールとしても広く利用されています。この結果から、今後の情報発信においてLINE を活用する余地が大きいことがわかります。

・「利用していない」が22.2%となっており、SNS 未利用者も一定数存在します。SNS に対して消極的な層や、他の情報収集手段を好む層があることを示しています。これは、SNS 活用に偏らず、紙媒体やホームページなど、他の情報提供手段と連携することが重要であることを示唆しています。



n=649

内容	回答数	割合
LINE を利用している	205	31.6%
利用していない	144	22.2%
Instagram を利用している	131	20.2%
X (旧 Twitter) を利用している	99	15.3%
Facebook を利用している	35	5.4%
TikTok を利用している	32	4.9%
その他の SNS を利用している	3	0.5%

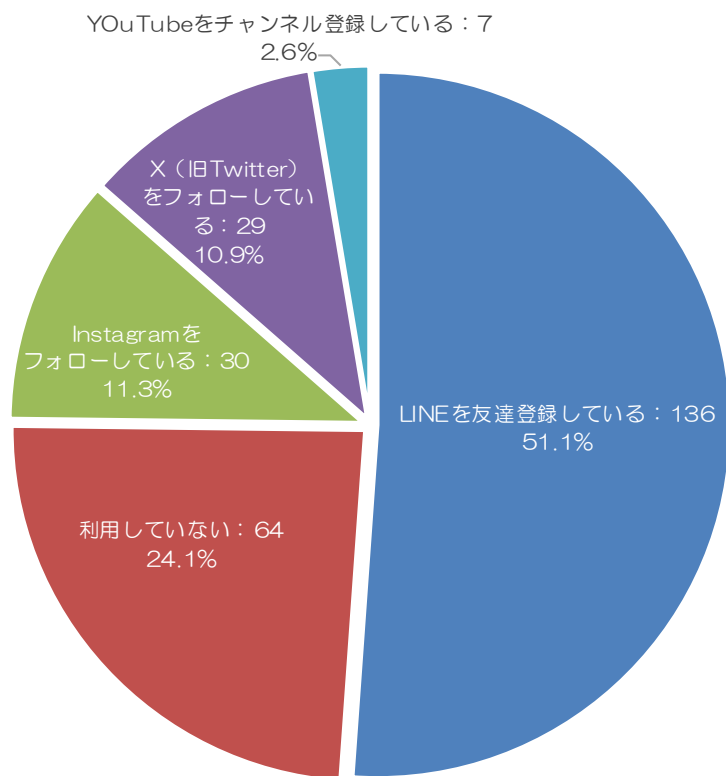
【その他の SNS を利用している：3件】

「メール」「Threads」「YouTube」などの回答がありました。

## Q 23. 市公式 SNS を利用していますか（複数回答可）

・「LINE を友達登録している」が51.1%と、多くの市民が市の公式 LINE アカウントを登録していることがわかります。これは、LINE が日本で最も広く普及しているメッセージングアプリであることを反映しており、市民にとって情報収集のために LINE が非常に便利で身近なツールとなっていることがわかります。市の情報を LINE を通じて受け取ることができるため、今後も LINE を活用した情報発信を強化することが有効であると言えます。

・「Instagram をフォローしている」が11.3%、「X（旧 Twitter）をフォローしている」が10.9%という結果から、両 SNS も一定の市民に利用されていることがわかります。



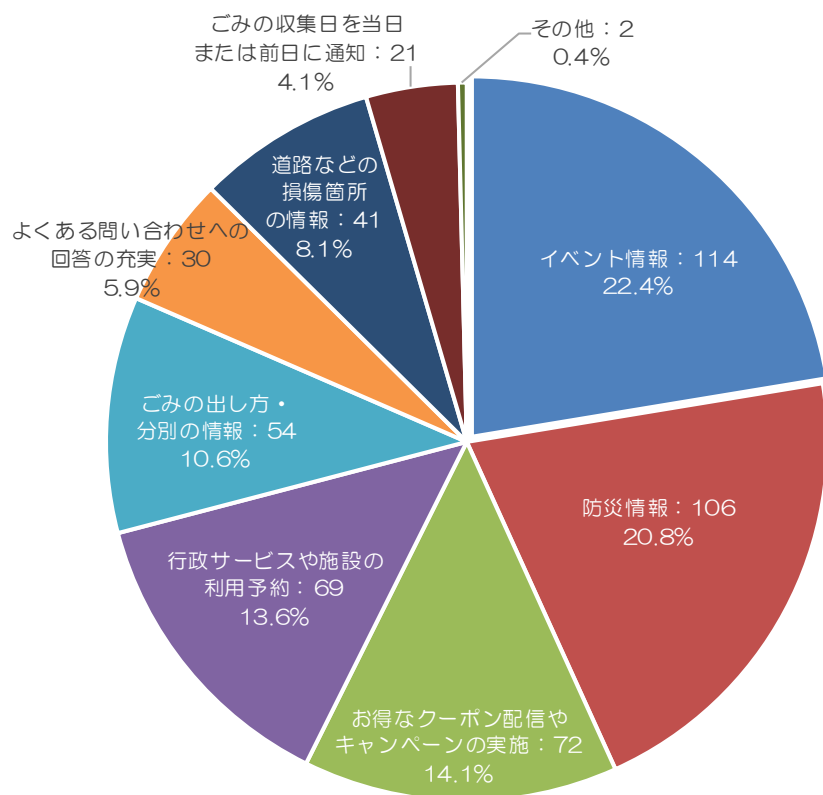
n=266

内容	回答数	割合
LINE を友達登録している	136	51.1%
利用していない	64	24.1%
Instagram をフォローしている	30	11.3%
X (旧 Twitter) をフォローしている	29	10.9%
YouTube をチャンネル登録している	7	2.6%

## Q 24. 市公式 SNS でどんな情報を積極的に発信してほしいですか（複数回答可）

【Q 23 で「X (旧 Twitter) をフォローしている」「LINE を友達登録している」「Instagram をフォローしている」「YouTube をチャンネル登録している」を選択した人のみ】

- ・「イベント情報」が 22.4% と最も多くの市民に支持されています。市民が最も関心を持っているのは地域で開催されるイベントや催し物に関する情報であり、SNS はそのような情報を迅速に提供する手段として非常に有効です。SNS を通じて、イベントの告知や参加方法、スケジュールなどを発信することは、市民の参加意欲を高めると同時に、地域の活性化にもつながります。
- ・次いで、「防災情報」が 20.8% で、2 番目に多く求められており、日頃からの防災情報はもちろん、災害時や緊急時の情報提供は、市民の安全を守るために非常に重要と考えられます。



n=509

内容	回答数	割合
イベント情報	114	22.4%
防災情報	106	20.8%
お得なクーポン配信やキャンペーンの実施	72	14.1%
行政サービスや施設の利用予約	69	13.6%
ごみの出し方・分別の情報	54	10.6%
よくある問い合わせへの回答の充実	30	5.9%
道路などの損傷箇所の情報	41	8.1%
ごみの収集日を当日または前日に通知	21	4.1%
その他	2	0.4%

【その他回答：2件】

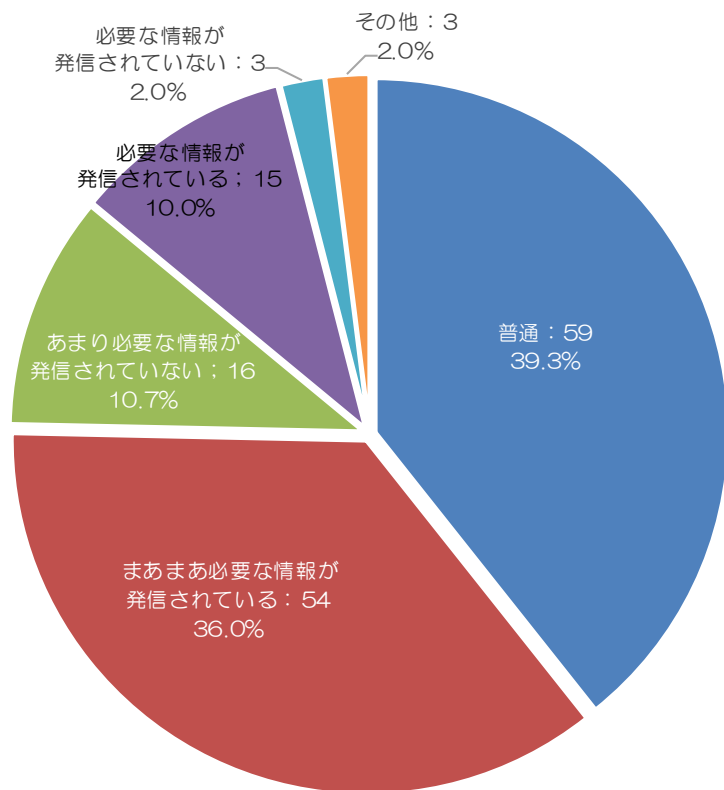
「補助金情報」「特にありません」との回答がありました。

## Q 25. 市公式 SNS で発信している情報はどうか

【Q 23 で「X (旧 Twitter) をフォローしている」「LINE を友達登録している」「Instagram をフォローしている」「YouTube をチャンネル登録している」を選択した人のみ】

・「普通」が 39.3% と最も多く、評価が中立的という結果となりました。市民の多くが市公式 SNS の情報発信に対して特に強い不満もなく、かつ特に高く評価していない状態を示しています。情報提供が日常的に行われているが、それほど印象に残るものではないという印象を持っている市民が多いことが伺えます。

・ SNS で発信される情報が「まあまあ必要」とされる一方で、もっと市民が欲しい情報を的確にタイムリーに提供することが重要です。また、情報の内容が充実していると感じてもらえるようにするため、発信内容の工夫が求められる結果となりました。



n=150

内容	回答数	割合
普通	59	39.3%
まあまあ必要な情報が発信されている	54	36.0%
あまり必要な情報が発信されていない	16	10.7%
必要情報が発信されている	15	10.0%
必要情報が発信されていない	3	2.0%
その他	3	2.0%

【その他回答：3件】

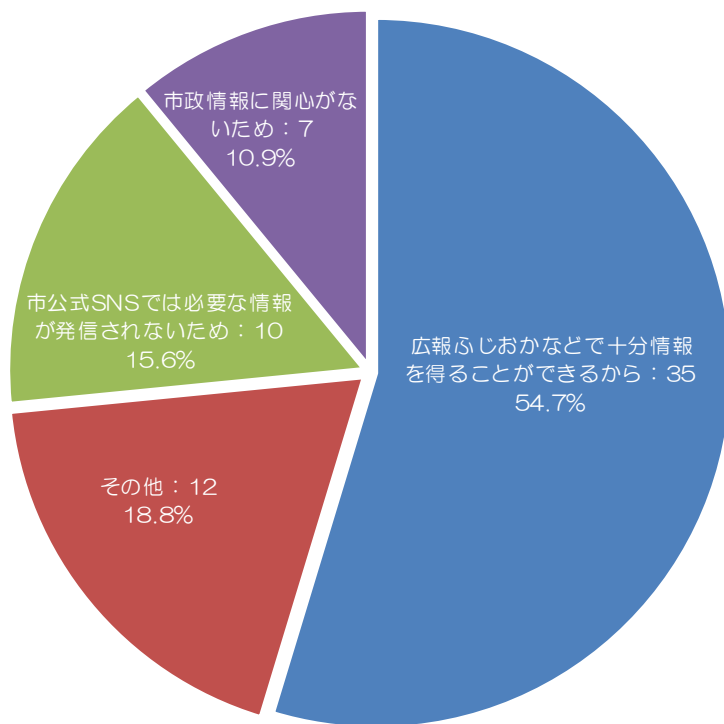
「自分にとって不要な情報が多く配信されている。」「いらぬ情報が多い」「フォローはしているがあまり閲覧していない」の回答がありました。

## Q 26. 市公式 SNS を利用しない理由は何ですか

【Q 23 で「どれも利用しない」を選択した人のみ】

・市公式 SNS を利用しない理由として、「広報ふじおかで十分情報が得られている」が 54.7% と最も多い結果となりました。この結果から、市民の多くが既存の情報提供手段（広報ふじおか、紙媒体など）で十分に情報を得ていることがわかります。また、SNS を利用する必要性を感じていない人が一定数いることが伺えます。

・「市政に関心がないため」が 10.9% となっており、SNS を利用しない理由として挙げられています。市政や地域の事柄に関心がない層が一定数存在しており、この層に対しては、SNS を利用することで関心を引き、地域活動や市政に対する興味を促進する方法が求められます。



n=64

内容	回答数	割合
広報ふじおかなどで十分情報を得ることができるから	35	54.7%
その他	12	18.8%
市公式 SNS では必要な情報が発信されていないため	10	15.6%
市政に関心がないため	7	10.9%

【その他回答：12 件】

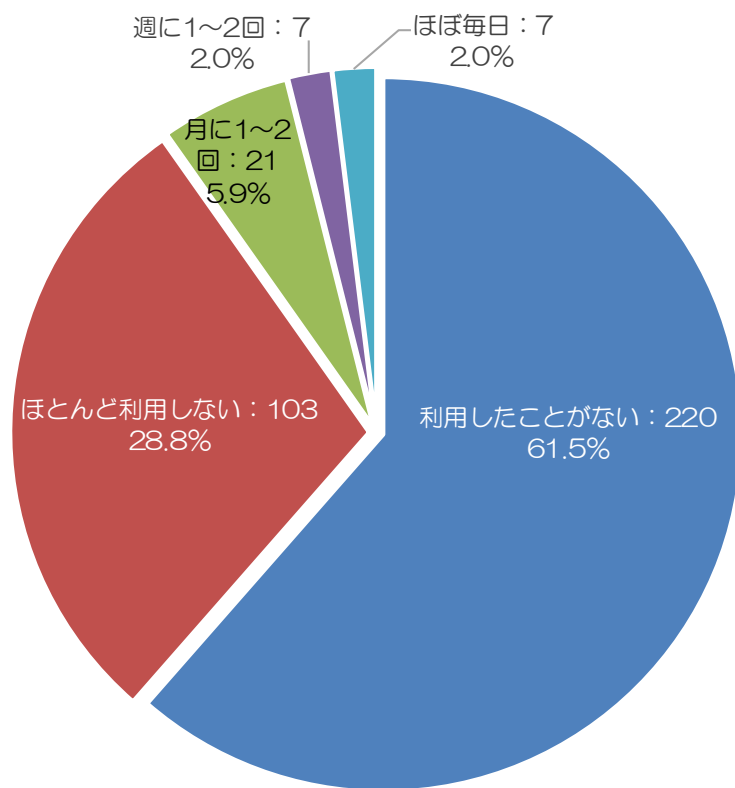
「あるのを知らなかった為」「更新頻度が少ないため、タイムリーではない」「必要な情報を必要な時に自ら探す」「必要なときはホームページで確認するため」「ほっとメールに登録しているため」「使いたくない」「知らなかったため」などの回答がありました。

## 群馬テレビデータ放送について

### Q 27. 群馬テレビデータ放送を利用し、どれくらいの頻度で情報を取得していますか

・「利用したことがない」が61.5%と、最も多い結果となっています。これは、市民の多くが群馬テレビデータ放送を情報源として活用していないことを示しており、データ放送を利用する習慣が根付いていない、または利用する必要を感じていない層が非常に多いことが分かります。群馬テレビデータ放送を通じた情報発信が、市民にとって有効な情報手段として浸透していない可能性が高いと結果となりました。

・「ほとんど利用しない」が28.8%となっており、利用したことがないと感じていない市民でも、実際にはデータ放送をほとんど活用していないという状況が見受けられます。これも、データ放送を利用する場面が限られている、もしくは他の情報源（広報ふじおかやインターネットなど）に依存しているということを示唆しています。



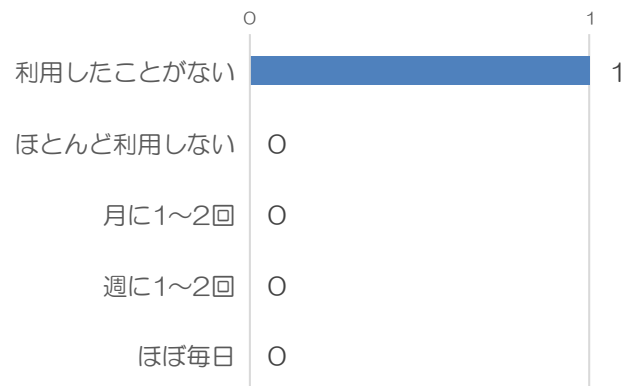
n=358

内容	回答数	割合
利用したことがない	220	61.5%
ほとんど利用しない	103	28.8%
月に1~2回	21	5.9%
週に1~2回	7	2.0%
ほぼ毎日	7	2.0%

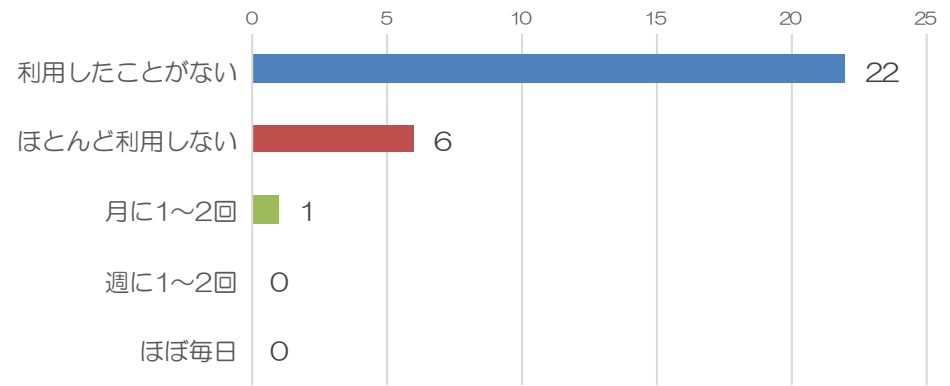
## Q 27. 群馬テレビデータ放送でどれくらいの頻度で情報を取得していますか

【年代別回答】

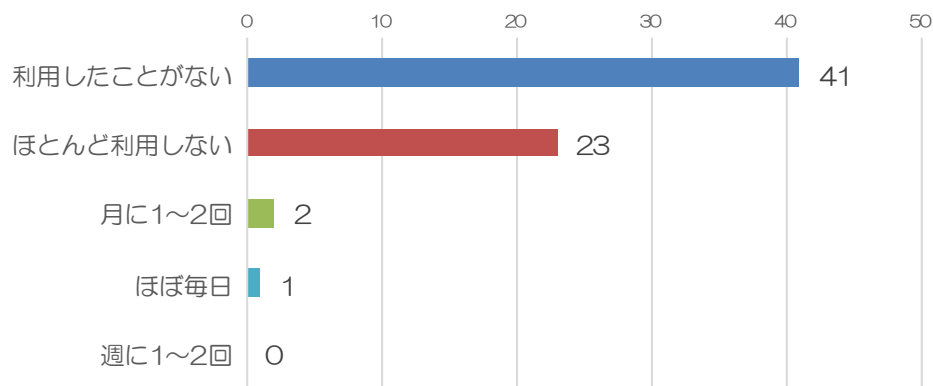
20歳未満



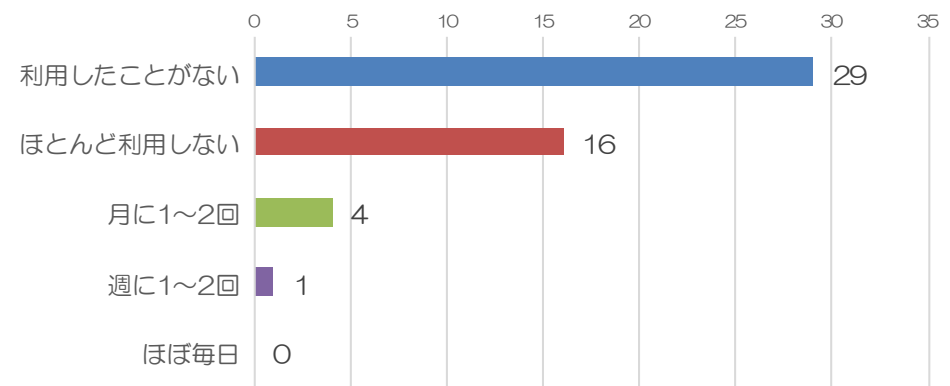
20歳代



30歳代

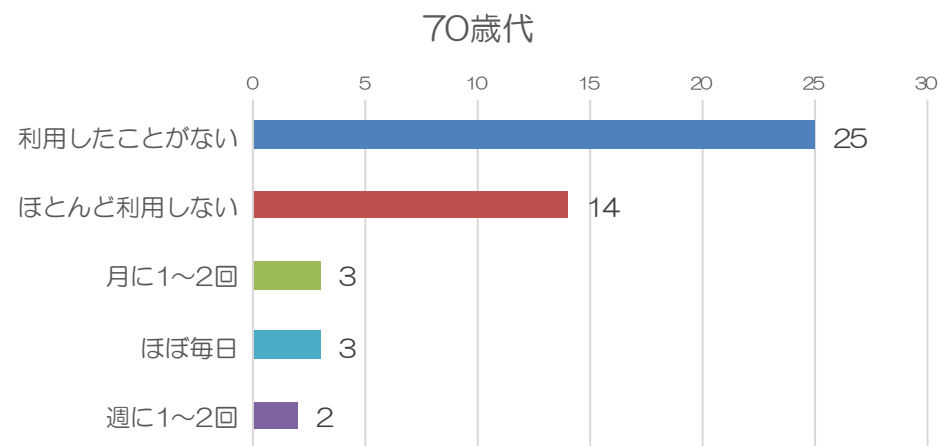
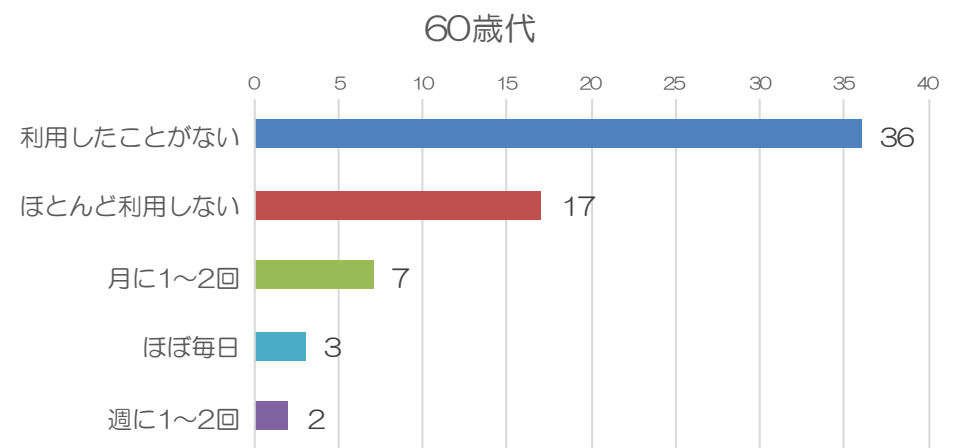
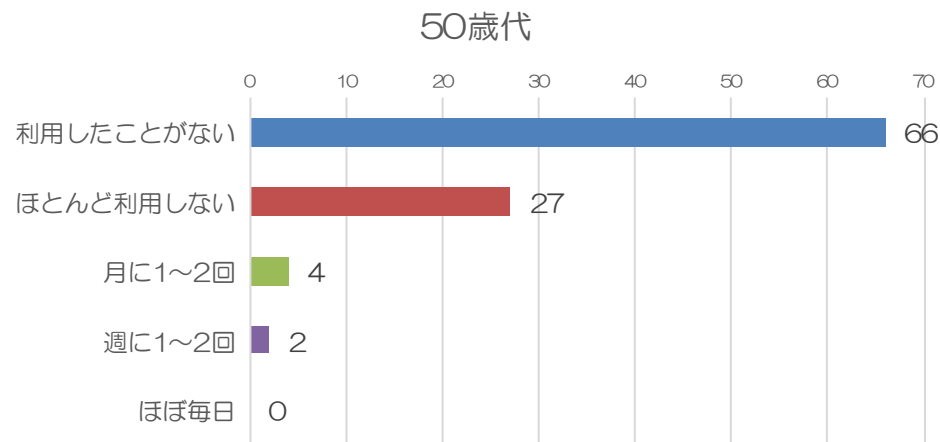


40歳代



## Q 27. 群馬テレビデータ放送を利用し、どれくらいの頻度で情報を取得していますか

【年代別回答】

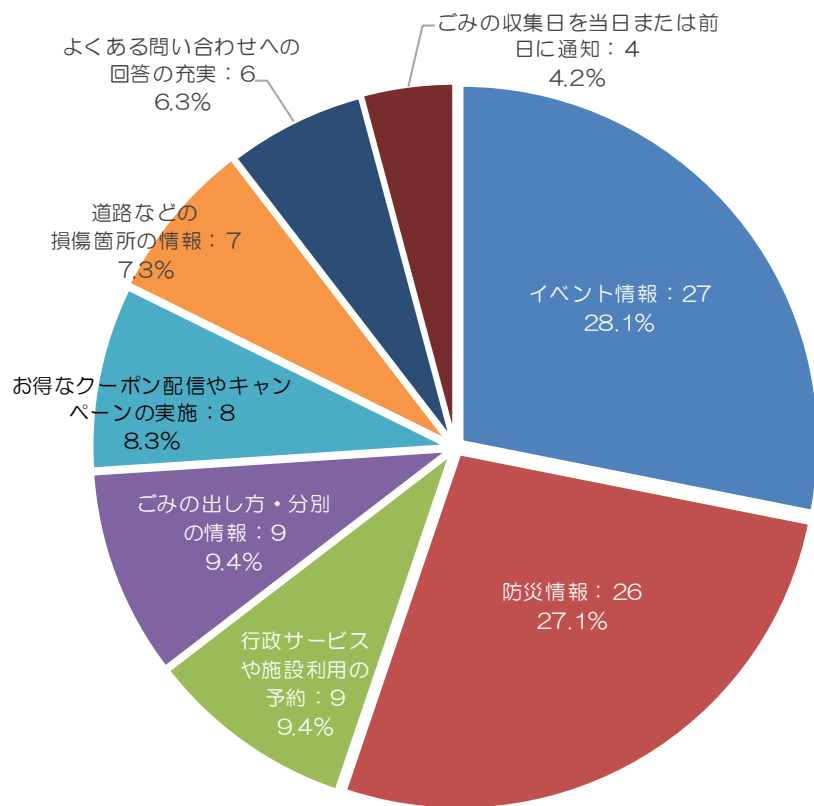


## Q 28. 群馬テレビデータ放送でどのような市政情報を積極的に発信してほしいですか(複数回答可)

【Q 27で「ほぼ毎日」「週に1～2回」「月に1～2回」を選択した人のみ】

・「イベント情報」が28.1%で最も多く、市民が群馬テレビデータ放送を通じて最も求めている情報であることが分かります。市民が地域のイベントや行事に強い関心を持っており、情報をタイムリーに受け取りたいというニーズが高いことを示しています。

・次いで「防災情報」が27.1%と多く、市民の安全を守るための情報に対する関心が非常に高いことが分かります。特に防災に関する情報は、命に関わる重要な内容であり、タイムリーで正確な情報提供が求められるため、群馬テレビデータ放送は非常に有効な手段となります。



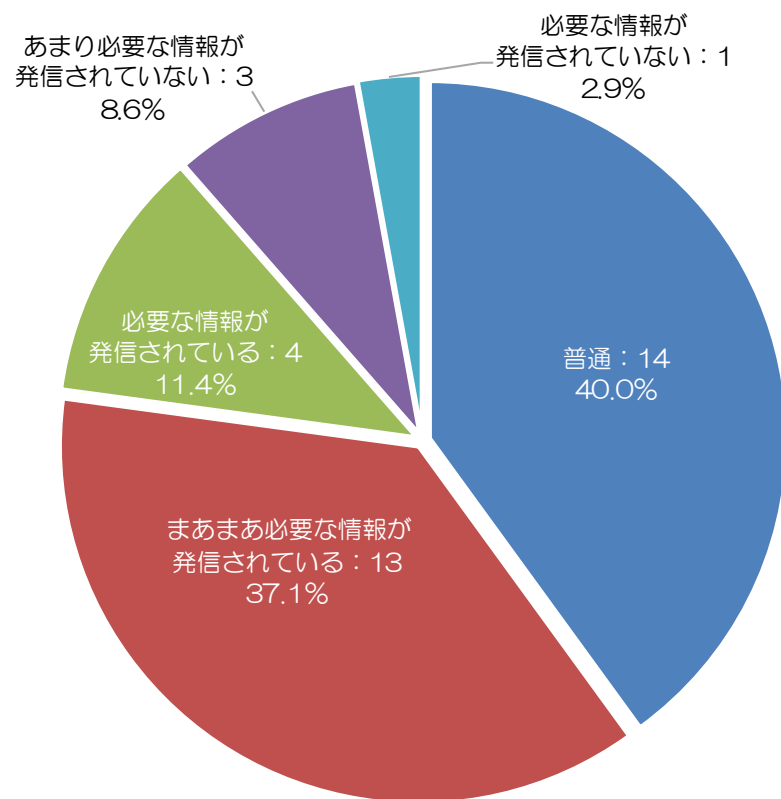
n=96

内容	回答数	割合
イベント情報	27	28.1%
防災情報	26	27.1%
行政サービスや施設利用の予約	9	9.4%
ごみの出し方・分別の情報	9	9.4%
お得なクーポン配信やキャンペーンの実施	8	8.3%
道路などの損傷箇所の情報	7	7.3%
よくある問い合わせへの回答の充実	6	6.3%
ごみの収集日を当日または前日に通知	4	4.2%

## Q 29. 群馬テレビデータ放送で発信している情報はどうか

【Q 27で「ほぼ毎日」「週に1～2回」「月に1～2回」を選択した人のみ】

・「普通」が40.0%と最も多い結果となっており、群馬テレビデータ放送を通じた情報発信が市民にとって特に良くも悪くもないと感じられていることが分かります。この結果は、データ放送での情報発信が日常的に見られているものの、特別に印象的な内容や価値を感じていない層が多いことを示唆しています。市民の中で、情報の質や量について、あまり強い評価も不満もない状況だといえます。



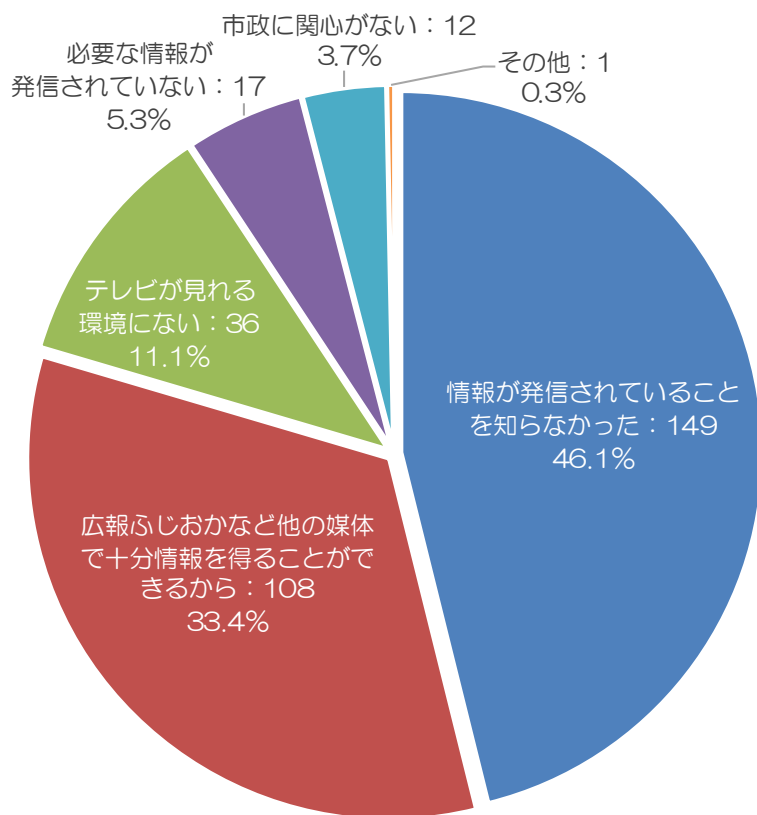
n=35

内容	回答数	割合
普通	14	40.0%
まあまあ必要な情報が発信されている	13	37.1%
必要な情報が発信されている	4	11.4%
あまり必要な情報が発信されていない	3	8.6%
必要な情報が発信されていない	1	2.9%

## Q 30. 群馬テレビデータ放送を利用しない理由はなんですか

【Q 27で「ほとんど利用しない」「利用したことがない」を選択した人のみ】

・「情報が発信されていることを知らなかった」が46.1%と最も多く、群馬テレビデータ放送を利用しない主な理由として挙げられています。この結果は、市民が群馬テレビデータ放送での情報発信に対する認知が不足していることを示しています。情報が発信されていること自体を知らない市民が半数近くを占めており、データ放送の存在感や周知が不十分であるという課題があります。



n=323

内容	回答数	割合
情報が発信されていることを知らなかった	149	46.1%
広報ふじおかなど他の媒体で十分情報を得ることができるから	108	33.4%
テレビが見れる環境にない	36	11.1%
必要な情報が発信されていない	17	5.3%
市政に関心がない	12	3.7%
その他	1	0.3%

【その他回答：1件】

「群テレを見ない」の回答がありました。

## 自由記載

- ・ 問 31 の自由記載欄に寄せられた内容を、項目ごとにまとめたものです。
- ・ 原則、原文のまま掲載しています。
- ・ 本調査と関係のない内容のものや、内容が不明確なものに関しては掲載していません。

## 「広報ふじおか」について

- ・ 広報は、必要に応じてインターネットで見られるので冊子での配布をやめてもいいと思う。
- ・ 広報ふじおかが月 1 度になったことは良かったのですが、印刷がカラフルになっていませんか？せっかく経費削減出来たのにこれではおんなじじゃん、と思います。成人式の写真はカラー印刷でも良いと思いますが、他は白黒で十分です。カラーバージョンはホームページ・SNS で上げる等で良いのではないですか？
- ・ 季節の行事やイベント、各種申請等々タイムリーに載せてあり、情報源として役に立っている。
- ・ 広報ペーパー必要人だけに配布した方が良いのでは？
- ・ 趣旨と内容をちゃんと構築した情報にして欲しい。また内容や必要ない情報などの無駄が多い。一見して理解や納得出来る構図で作成して欲しい。
- ・ 内容がお知らせ中心なのが残念です。藤岡市を広く知らしめる特集記事的な内容があっても良いのではないかと思います。
- ・ 是非、高崎市広報のように月 1 で良いので、見やすい表記をお願いします。
- ・ デジタル化されているのはありがたいが、やはり紙の方が見るので、今後も発行をお願いします
- ・ 公式ラインをもっと活用して情報発信してほしい。ラインならよく確認するので、市民講座やセミナーの募集などもラインでもらえてほしい。
- ・ 最近『広報ふじおか』の必要性を感じない。
- ・ 広報は必要ないと思います
- ・ 広報ふじおかの紙媒体を、電子媒体に切り替え推奨するよう、市民に投げかけて欲しい。紙媒体はお金の無駄、環境への配慮。
- ・ あまり保存しないので、あのような良い紙はいらない
- ・ 広報ふじおか、楽しみにしています！
- ・ 広報、俳句コーナーを復活してほしいです。市民が参加できるコーナーを増やして下さい
- ・ 藤岡市は年齢層が高いので広報はまだ紙媒体でいいのかなと思います。月に 1 度にしたのも正解かと、藤岡市の観光、イベントの発信を強化しもっともいい藤岡市にしたいと思う。

- ・本年度より、月1回の広報となり、様々なことで情報が得られる時代であり、人それぞれ関心事が異なりますので月1回の広報で良いと思います。又、区長、班長等の経験者であれば助かると思います。
- ・配るのが大変でしようがなるべく紙でお願いします
- ・各班長さんの負担を無くすため紙広報は、要らない。スマホの普及を考慮すれば必要ありません。
- ・広報は、配布に市民の負担があり、電子化されるとよいと思う。負担がなくなる方法があればよいが。
- ・広報ふじおかが、いらぬという声も聞きますが、新聞と同じで、やはり、なくなるのは困ります。
- ・これからも紙で広報誌を出してほしいです。よろしくお願いします。
- ・「広報ふじおか」の表紙の写真について、いつも人物写真（子供のイベント等）が多く季節感があって良いのですが、肖像権もあります。更に季節感を出し人物だけでは無く、市内の名勝や市有施設などを季節感を出して写真で紹介してくれたら良いと思います。
- ・紙での広報配布は希望者だけにし、その他はネットで見られれば十分と感じます。経費削減、配布の負担減少のため。
- ・広報を紙面で発行しなくてもいいと思う。
- ・回覧や広報の配達に関して、区長・班長の負担が大きい。希望者のみでも電子媒体での広報・回覧の配信が行うことができれば負担の軽減および経費の削減が行えると思います。
- ・紙媒体「広報ふじおか」は、希望者のみでいいと思う。
- ・オールカラーである必要性は乏しい。見た目より中身（情報の「量」ではなく「質」）の充実が先決でしょう。
- ・配るのが大変でしようがなるべく紙でお願いします
- ・紙が豪華すぎませんか？昔はもう少し質素だったような気がします。
- ・紙がもったいないし、希望者のみが貰えるようにしたらいいと思います。あとはLINEなどSNS等で広報の内容が閲覧できれば十分だと思います。
- ・ゴミになるから配らなくていい
- ・今の所満足しています。知りたい事が見たり出来ているねで。
- ・ごちゃごちゃに成らず、シンプルで分かりやすい事を願います。色が増えると内容が入ってこない感じになります。宜しくお願いします
- ・例えば。市民の困りごとなど行政以外の意見やアイデア（一般市民の方からの回答）のコーナーを設けてみる。例えば。譲ります、欲しいです。のジモティみたいなコーナーあれば良いな。例えば。市民のサークル活動のお知らせ、募集など知りたい。

## 「市ホームページ」について

- ・内容が知りたくて検索してホームページを見に行くわけなので、知りたい情報がきちんとホームページに掲載されていて、ホームページを見れば済むようにしてほしい。SNSは届く層に限られるし、ホームページも見る層と見ない層がいる。正直SNSはそこまで力を入れなくていいと思っています。大事な情報は公式ホームページでしっかり確認できるようにしてほしい。
- ・以前のホームページのほうが使い勝手が良かったと思います。
- ・市ホームページの情報の更新が遅い。課によって違いがありすぎる。誰が統括的管理をしているのか明確にした上で全体的なチェックをすべき。誰も見なくなるぞ。
- ・市ホームページを見に行った時に、どうすればいいのか等の内容の説明がなく、利用がしづらいです。閲覧者が利用しやすいよう、改善してほしいです。また、ホームページ上で手続きができるなど、市役所まで行って手続きをする代わりに、ウェブ上で手続き等ができるように、デジタル化を推進していただけるよう希望します。問い合わせ先も、電話番号だけでなく、eメールアドレスや問い合わせフォーム等を掲載し、メールなどでやり取りができたりするといいと思います。

## 「市公式 SNS」などによる情報発信について

・先日、山火事が発生した後、鎮火したのかしてないのか、ネットでもテレビでも最新のものが見つけられなかったし、市からの情報も無かった。今回は市民生活にあまり直接的な影響が無かったから良かったが、1日に1回程度の定期的で簡単（鎮火した or 鎮火していない程度）な情報発信があっても良かった。万が一、フェイク情報などが出てしまったら、大きな影響が出て不思議はないし、それを訂正したり打ち消したりするのは結構大変なはず。事前の定期的な情報発信がそれを防いだり、問題を最小限に抑えることにつながると思う。大規模災害（地震、洪水、土砂崩れ、山火事、停電、道路陥没・・・）の際には、定期的な情報発信が市民の混乱を防ぐと思うので、今後配慮してほしい。

・先日の日野の山火事についての詳細情報が市の公式ラインに掲載されなかった。状況を具体的に知りたかったのに、テレビのニュースやネット情報を検索して情報を収集するしかなかった。何故公式ラインで情報発信をしないのか不信感を持った。行政機関にとって都合の良い情報のみ発信していると、情報そのものの信頼性は低下し色褪せて興味を感じられなくなると思う。

・一例として、過日の上日野における山林火災について、一日近く等藤岡市民として情報の概要が得られなかったことがありました。NHK で見て知人の安否を気遣う都内からの電話とヘリコプターの音で非日常的な動きに不安を感じました。LINE ではその間、催し物の紹介などが出されていましたが、自衛隊の出動を要請したと TV で知り、市の行動は知ることができませんでした。災害等の緊急性大小はありますが、市民へのより適切で迅速な注意喚起を希望します。ご参考まで・・・「林野火災注意報」の表現に平易な言葉で衆知することはできますか？

・上日野地区や庚申山の山火事のホットメールやラインの通知がなく、ニュースで知りました。消防署とかの取り決めで山火事は市民に通知しないとかの理由があるのかもしれませんが、全国ニュースにもなるようなことは、ホットメールで連絡してもよいのではと思います。あと新年の挨拶や市長コラムは本当に市長や議員が書いているのでしょうか？市職員の方が書いていたり、定型文のアレンジを載せるだけだったりするのであれば、違う情報を掲載した方が有効だと思います。

・先日の日野の山火事についての詳細情報が市の公式ラインに掲載されなかった。状況を具体的に知りたかったのに、テレビのニュースやネット情報を検索して情報を収集するしかなかった。何故公式ラインで情報発信をしないのか不信感を持った。行政機関にとって都合の良い情報のみ発信していると、情報そのものの信頼性は低下し色褪せて興味を感じられなくなると思う。

・市外の方も興味を持ってもらえそうな SNS 発信をすると市の活性化につながると思う。若い世代の興味を持ってもらうためには TikTok 発信もした方が閲覧数は増える気がする。

・公式 SNS は見ると楽しいのでマメに発信してもらいたいです。

- ・手話に興味がある人からすると、カンタン（初歩的）すぎて新しく学べる手話が少ないと感じます。手話を広めたいのであれば、逆に「この言葉ってこんな手話表するんだ！」という発見がある方が楽しいです。
- ・昔よりはるかに情報発信がされており、たすかっております。ありがとうございます。
- ・インスタが全然活用されていないように思われる。お祭りなど、開催前に PR すれば良いのに、事後報告では、なんの PR にもなっていない。
- ・友人やご近所さんと話すような話題や雰囲気、知ってほしい福祉や医療のことを発信して欲しい。こんな事利用できるんだと分かれば、税金払う気持ちも変わる。
- ・藤岡市民が、藤岡市に興味を持つ様な、情報発信を期待したいです。
- ・藤岡出身のスポーツ選手や芸術、音楽で活躍してる方々の動向なども知りたい。ほぼ毎日送信される LINE はとても重宝しています！助かります。ありがとうございます。
- ・防災についてもう少し詳しく知りたいと思います
- ・今のままで携帯と市報で充分だと思います。
- ・ほっとメールを入れています。上日野の山火事の情報が入って来なかったことに もどかしく感じました。
- ・ごみ分別のアプリが役に立たない 内容が古くて今の時代の知りたいものが出てこない